

2) 要望調査票 (教育案件 1)

要請案件調査票 (フォローアップ協力を除く)

新規継続区分 ●新規 ○継続

国名 インドネシア

援助重点分野 貧困削減/社会サービス改善

開発課題 地域開発/教育

協力プログラム 東部インドネシア開発支援

(プログラム番号) _____

投入形態 技術協力プロジェクト(事前評価調査 有 無→無の場合、専門家派遣を18年度内に予定する場合は付属資料1を記入のこと)

- 技術協力個別案件(機材) ボランティア
技術協力個別案件(専門家) 開発調査
技術協力個別案件(研修) 無償資金協力

案件名 (和) 南スラウェシ州小学校校舎建設計画

(英) Promary School Rebuilding Project in South Sulawesi Province

(外) _____

相手国機関名 (和) 南スラウェシ州政府

(外) Provincial Government of South Sulawesi

プロジェクトサイト 南スラウェシ州

現状と問題点

南スラウェシ州は、JICAのインドネシアにおける東部インドネシア開発の拠点として位置づけられており、現地 ODA タスクフォースでも今後 JICA、JBIC、外務省と調整をしながら総合的な地域開発協力を実施していくこととしており、現地 ODA タスクフォースと南スラウェシ州政府の間でプログラム基本構想が合意されている。「南スラウェシ州地域開発プログラム」は、(1)地域の発展を牽引する都市部の開発、(2)地域全体のバランスのとれた開発、(3)社会開発の推進の 3 つの柱で構成されており、基礎教育行政改善が保健行政と並んで、社会開発推進のコンポーネントの一つとして位置づけられている。

現在インドネシア政府は、基礎教育分野において、質のより高い9年間基礎教育の義務化実現を急務としている。初等教育は、1970 年後半の授業料の無償化、大統領令補助金による大規模な小学校建設計画が実施されたことにより、1984年に総就学率が100%を超え、同年に義務化達成が宣言された。しかし、現在どの地域もその時代の後遺症に悩まされている。1970 年代後半から 1980 年代前半にかけて、学齢児童の分布や小学校の最適なロケーション検討など十分なマッピングがなされないまま、年間 5,000 を超える新設小学校、10,000 を超える教室増設事業が進められた結果、コントラクター選定にも問題が生じ、耐久性の非常に低い校舎が次々と建設されることとなった。当時から 20 年以上経過した現在、多くの小学校の校舎の傷みがひどく、生徒の学習の妨げになっている、あるいは危険性が高く、使用不可能な校舎となっているケースが後を絶たない。近年、インドネシア各地で小学校の校舎が急に倒壊する事故の報道が多くなっていることもそのひどい現状を示している。

南スラウェシ州内の小学校の校舎の状況であるが、緊急の新築を含む改修が必要なものが、普通小学校で 28.15% (2,056 校)、宗教小学校で 33.29% (203 校) に上っている。緊急ではないが早期の新築を含む改修を必要とする校舎は、普通小学校で 10.73% (666 校)、宗教小学校で 8.64% (71 校) となっている。州教育局でも、国家予算地方委任業務費 (Deconcentration Budget) による小学校校舎改修を実施しているが、年間に対象になる学校は年間で 180 校程度にとどまっている。

南スラウェシ州政府より、国家開発計画および州開発計画でも基礎教育拡充が一貫して重点目標となっていることから、上述の緊急性の高い小学校校舎改修 (全体の約 30%) 協力に関する要請が出された。本案件は、この要請の中で倒壊の危険性が高く新築が必要となるものについて受けるもので、南スラウェシ州内の小学校の生徒達の安全な学習環境の確保および教育の質向上に資するものである。なお、個々の学校における校舎改修後のメンテナンス対策であるが、昨年度より小学校にも生徒の福祉対策ならびに就学支援を目的とした学校運営補助金 (BOS) が配賦されるようになり、各学校の自律的校舎メンテナンスが財政的に可能となっている。親や地域社会代表も加わっている学校委員会も設立されていることから、学校委員会が率先してメンテナンスを進めていくことが期待できる。

我が国援助方針との整合性

1 援助方針

我が国の「対インドネシア国別援助計画」における支援の「三つの柱」のうち、「民主的で公正な社会造り」のための支援として、「貧困削減」（農漁村開発による雇用機会の創出及び所得・福祉の向上、教育及び保健・医療などの公共サービスの向上等）が謳われている。

2 南スラウェシ州地域開発プログラム

(1) プログラムの目的： 南スラウェシ州における地域開発を通じた貧困対策の促進

(2) プログラムアプローチ：

- (i) **都市部開発+農村部開発の有機的連携**（都市部と農村部の地域間連携による相乗効果、州総体としての発展）
- (ii) **地方行政と地域社会への複層的アプローチ**（地域社会への直接的な裨益効果と地方行政による成果の波及の双方を重視。）
- (iii) プログラムの全体開発構想（州政府の開発計画と整合性を持たせたもの）に基づき各セクター案件を位置づけ、実施にあたって**各案件間の連携を可能な限り促進**。

(3) プログラムの重点課題

【南スラウェシ開発における3つの柱 3つのサブプログラム】

- (i) **地域の発展を牽引する都市部の開発**
→「マミナサタ都市圏開発」サブプログラム
：都市環境整備、経済振興、経済インフラ整備、都市管理・法制度・組織強化
- (ii) **地域全体のバランスの取れた開発**
→「南スラウェシ州経済振興」サブプログラム
：地場産業の振興、生産・加工・流通システムの強化、貿易振興
- (iii) **社会開発の推進**
→「社会開発促進」サブプログラム
：地域の保健衛生、地域教育システムの普及
：社会開発（特に教育、地域保健、村落開発）分野に集約した JOCV 派遣

案件概要 ■ 在外主管型案件（在外主管で実施したい案件をマーク）

1) 上位目標

対象校の初等教育の質が向上する。

2) 案件の目標

対象校の生徒の安全な学習環境が確保される。

生徒の学習状況が改善される。

3) 成果

- (i) 倒壊の恐れのある小学校および新たに学校を必要としている僻地にての校舎の新築が行われる。
（数量）
- (ii) 校舎の新築に併せて小学校学習機材が提供される。（数量）
- (iii) 校舎メンテナンス計画が各対象校で策定される。

4)活動

- (i) 小学校校舎の改修(新築)計画作業:基本設計、入札、建設、工事管理
- (ii) 小学校校舎の建設(取り壊し、新設):基本設計、入札、建設、工事管理
- (iii) 学習機材のニーズ調査、計画、積算、入札、納入
- (iv) 校長、学校委員会に対するメンテナンス計画および学校環境改善研修

5)投入

日本側投入:

インフラ:建屋(教室)、施設(機材など) 100校×10百万円×2年= 2,000百万円

専門家:(学校建設、施工・監理) 60人月= 90百万円

ローカル監査チーム雇用:4人×20ヶ月×0.07= 5.6百万円

日本側投入合計:2,095.6百万円

相手国側投入:

- (1) ワークショップ開催費、C/P出張旅費、州・県調整経費など約100,000,000ルピア(想定)
- (2) カウンターパート、必要な執務環境

6)外部条件

実施体制

県教育局:実施主体

州教育局:州全体の調整

対象校:学校委員会(監理とメンテナンス計画)

協力期間

2008年4月～2010年3月

協力額概算

1,295.6百万円

(内、18年度分実施予算)

0百万円

(内、16年度以前実施予算)

0百万円

環境社会配慮 (技術協力プロジェクト・開発調査及び無償資金協力案件については、別紙「環境社会配慮ガイドラインに基づくスクリーニング様式」に必要事項を必ず記入し、**本調査票と併せ**提出下さい。)

関連する援助活動 ●JBICとの連携の有無 □有り □無し

1)我が国の援助活動

(有償資金協力等との連携について、案件名のみではなく、連携内容等についても言及する)

- ・南スラウェシ州地域開発プログラム（2005～2009年度）
南スラウェシ州小学校校舎改修計画は、南スラウェシ州地域開発プログラムの「社会開発促進」サブプログラムとして位置づけられている。同サブプログラムでは、平成18年度に「地方行政アドバイザー」(個別専門家)を派遣し、県レベルの教育行政運営にかかわる支援を行うと共に、前期中等教育を対象とした「前期中等教育改善総合計画」(技プロ)を実施する予定である。さらに、村落開発(主に教育・保健医療分野)分野のJOCVを派遣し、学校レベル、地域保健センター、コミュニティレベルでの指導を行っていく予定である。
- ・インドネシア地域教育開発支援調査フェーズ1（1999～2001年度）
- ・インドネシア地域教育開発支援調査フェーズ2（2002～2004年度）
- ・インドネシア地方教育行政改善計画プロジェクト（2004～2008年度）
- ・初中等理科教育拡充計画（1998～2005年）、及び後継技プロ（2006年～）
- ・地域参加型地方教育計画立案研修（1997～2004年度）
- ・JBIC中学校建設プロジェクト（直接的関連はない）

2)他ドナー等の援助活動

- ・WB: Basic Education Project
- ・WB: Kecamatan Development Project (Education Component)
- ・USAID: Decentralized Basic Education, Managing Basic Education
- ・UNICEF: Creating Learning Communities for Children
- ・GTZ: Science Education Quality Improvement Program など

ミレニアム開発目標との関連 (3つまでポップアップで入力可能)

普遍的初等教育の達成		
------------	--	--

我が国重要開発課題との関連 (3つまでポップアップで入力可能)

教育	貧困削減	
----	------	--

ジェンダー配慮について

(ジェンダーの観点から見た本案件に関する情報)

類似案件からのフィードバック

無償資金協力で校舎建設協力を行う場合、対象校選定、設計などの計画段階から校舎完成まで一貫して監理することが可能である点が、円借款と大きく異なる。案件実施サイクルの最初から最後まで日本人チームが関わり、学校委員会などとの連携を通して、良質な校舎建設が可能となる。
--

裨益者グループの種類と規模(人数・人口) (可能な限りで男女別に記載)

- ・ 約 120,000 人の生徒が安全な教室で、授業に集中できるようになり、学習状況が改善される。
- ・ 約 10,000 人の校長、教員、学校職員らが安全な環境で授業や生徒指導にあたることが可能になり、よりよい授業が実践できるようになる。
- ・ 約 9,000 人の学校委員会メンバーが校舎改修工事の監理を行うことで、学校に貢献し、自律的な校舎メンテナンス計画を立て、実施するようになる。

治安状況

良好

その他 民間との連携を希望 (民間に一括委託するのが望ましい案件をマーク)

優先順位 (先方政府順位) A B C (我が方順位) A B C

在外(現地ODAタスクフォース)コメント

技術協力プロジェクト・開発調査及び無償資金協力案件については、必要事項をすべて記入の上、本様式を要請案件調査票に必ず添付してください。

1.プロジェクトの分野（該当する□をチェックしてください）

- 鉱業開発 工業開発 火力発電（地熱含む） 水力発電、ダム、貯水池 河川・砂防
 送変電・配電 道路、鉄道、橋梁 空港 港湾 上水道、下水・廃水処理 廃棄物処理・処分
 農業（大規模な開墾、灌漑を伴うもの） 林業 水産業 観光
■ 上記分野以外（教育）

2.想定される影響（該当する□をチェックしてください）

- 大規模な非自発的住民移転（規模： 世帯、 人）
 大規模な地下水の揚水（規模： m³/年）
 大規模な埋め立て、土地造成、開墾（規模： ha）
 大規模な森林伐採（規模： ha）
■ 大規模な影響はない

3.サイト（事業対象地内）もしくは周辺の状況（該当する□をチェックしてください）

- 国立公園、国指定の保護対象地域（国指定の海岸地域、湿地、少数民族・先住民族のための地域、文化遺産等）およびそれに準じる地域
 原生林、熱帯の自然林
 生態学的に重要な生息地（サンゴ礁、マングローブ湿地、干潟等）
 国内法、国際条約等において保護が必要とされる貴重種の生息地
 大規模な塩類集積あるいは土壌浸食の発生する恐れのある地域
 砂漠化傾向の著しい地域
 考古学的、歴史的、文化的に固有の価値を有する地域
 少数民族あるいは先住民族、伝統的な生活様式を持つ遊牧民の人々の生活区域、もしくは特別な社会的価値のある地域
■ 環境社会面での配慮を有する地域とは無関係
 わからない

4.関係する環境社会影響（該当する□をチェックしてください）

- | | |
|---------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 大気汚染 | <input type="checkbox"/> 非自発的住民移転 |
| <input type="checkbox"/> 水質汚濁 | <input type="checkbox"/> 雇用や生計手段等の地域経済 |
| <input type="checkbox"/> 土壌汚染 | <input type="checkbox"/> 土地利用や地域資源利用 |
| <input type="checkbox"/> 廃棄物 | <input type="checkbox"/> 社会関係資本や地域の意思 |
| <input type="checkbox"/> 騒音・振動 | 決定機関等の社会組織 |
| <input type="checkbox"/> 地盤沈下 | <input type="checkbox"/> 既存の社会インフラや社会 |
| <input type="checkbox"/> 悪臭 | サービス |
| <input type="checkbox"/> 地形・地質 | <input type="checkbox"/> 貧困層・先住民族・少数民族 |
| <input type="checkbox"/> 底質 | <input type="checkbox"/> 被害と便益の偏在 |
| <input type="checkbox"/> 生物・生態系 | <input type="checkbox"/> 地域内の利害対立 |
| <input type="checkbox"/> 水利用 | <input type="checkbox"/> ジェンダー |
| <input type="checkbox"/> 事故 | <input type="checkbox"/> こどもの権利 |
| <input type="checkbox"/> 地球温暖化 | <input type="checkbox"/> 文化遺産 |
| <input type="checkbox"/> その他（ ） | <input type="checkbox"/> HIV/AIDS 等の感染症 |
- 関連する影響は無い

影響がある場合：関係する環境社会影響の概要（具体的に記述してください：必須）

5.代替案の検討（該当する□をチェックしてください）

- 検討した（検討した代替案の内容： ）
 検討していない

6.事業全体の環境社会影響（該当する□をチェックしてください）

- 現地住民より強い苦情等を受けたことがある。
 苦情を受けたことはない
 まったくの新規案件である
 その他（ ）

7.ステークホルダーとの協議（該当する□をチェックしてください）

- 実施した（関係省庁、地域住民、NGO、その他（ ））
 実施していない

8.環境社会配慮が必要な場合のステークホルダーへの情報提供・協議（該当する□をチェックしてください）

- 実施する 実施しない

9.環境社会配慮が必要な場合の該当分の JICA による要請書等の情報公開（該当する□をチェックしてください） 同意する 同意しない（理由 ）

10.環境影響評価関係法令またはガイドライン（該当する□をチェックしてください）

- 施行されている
（法律またはガイドライン名： ）
 施行されていない

11.環境影響評価（EIA,IEE 等）の要否（該当する□をチェックしてください）

- 本件プロジェクトでは不要
 IEE のみ必要（実施済み、実施中、実施予定）
 IEE と EIA の両方が必要（実施済み、実施中、実施予定）
 EIA のみ必要（実施済み、実施中、実施予定）

→環境影響評価制度の状況

- 付帯条件なく承認済み
 付帯条件つき承認済み
（承認年月日： 承認機関： ）

- 審査中
 手続きを開始していない
 その他（ ）

→許認可

- 取得済み（許認可名： ）
 必要だが未取得
 取得不要
 その他（ ）

12.環境社会配慮におけるカテゴリー分類（別紙 3-4 を参照の上、該当する□をチェックしてください）

- A B C

以上

2) 要望調査票 (教育案件 2)

要請案件調査票 (フォローアップ協力を除く)

プロジェクト番号 _____

新規継続区分 新規 継続

国名 インドネシア共和国

援助重点分野 貧困削減/社会サービス改善

開発課題 地域開発/教育

協力プログラム 東部インドネシア開発支援

(プログラム番号) _____

投入形態 A 技術協力プロジェクト(※) D 技術協力個別案件(機材) G ボランティア

B 技術協力個別案件(専門家) E 開発調査プロジェクト

C 技術協力個別案件(研修) (F 無償資金協力プロジェクト)

(※事前評価調査 有 無 →無の場合で、専門家派遣を 18 年度内に予定する場合は
付属資料1を記入のこと。)

案件名 (和) 南スラウェシ州前期中等教育改善総合計画

(英) Integrated Plan for Junior Secondary Education Improvement in South Sulawesi

(外) _____

相手国機関名 (和) 南スラウェシ州政府

(外) Provincial Government of South Sulawesi

プロジェクトサイト 南スラウェシ州

新規：新規検討対象案件（専門家の延長・後任派遣、複数年度実施研修の2年次以降、
および継続要請案件を含む）。
継続：実施中／採択済み案件。投入形態・案件名・協力期間・概算額のみ入力。

現状と問題点

南スラウェシ州は、JICAのインドネシアにおける東部インドネシア開発の拠点として位置づけられており、現地 ODA タスクフォースでも今後 JICA、JBIC、外務省と調整をしながら総合的な地域開発協力を実施していくこととしており、現地 ODA タスクフォースと南スラウェシ州政府の間でプログラム基本構想が合意されている。「南スラウェシ州地域開発プログラム」は、(1)地域の発展を牽引する都市部の開発、(2)地域全体のバランスのとれた開発、(3)社会開発の推進の3つの柱で構成されており、基礎教育行政改善が保健行政と並んで、社会開発推進のコンポーネントの一つとして位置付けられている。

現在インドネシア政府は、基礎教育分野において、地方分権下の地方教育行政の効率化と同時に、質のより高い9年間基礎教育の義務化実現を急務としている。中期開発計画(RPJM、RENSTRA2005-2009)でも、教育のアクセス、質、およびシステム運営の改善に重点が置かれている。国レベルや州レベルで策定された万民のための教育行動計画などの中では2009年の具体的到達目標値が設定されている。アクセスでは、2005年時点で全国平均85.22%である前期中等教育の総就学率を95%に、教育の質向上では、現時点で6.28の卒業統一試験スコアを2009年には平均7.5以上に、さらに、学校の主体的運営(School-based Management)の普及率も70%に引き上げることとしている。

南スラウェシ州も基礎教育分野で国レベルと同様の目標を設定している。州開発計画においても、基本的ニーズ充足および地域産業振興を支える人的資源開発という観点から、基礎教育の拡充は重点目標に位置づけられている。同州では、南西部の貧困地域を中心に前期中等教育の総就学率が全国平均を大きく下回っている(バンテアン県61.14%をはじめ60%台7県)。また、学校の主体的運営の普及率も約25%と非常に低い水準にとどまっている。一方、統一卒業試験スコア平均は全国平均を若干上回っている。州内各地に多様な地場産業もあり、コミュニティと学校、教育行政を結びつけることで、教育改善が促進される可能性は非常に高い地域である。

我が国はこれまで他地域においてREDIP(地域教育開発支援に係る調査およびプロジェクト)やIMSTEP(初中等理数科教育拡充計画)などの協力を通じて、インドネシア政府の教育目標達成に貢献してきており、いずれも高く評価されている。他地域において成果を上げた教育行政システム改善支援と、効果的授業研究の定着と普及を組み合わせた協力が同州の教育開発支援において実現することは、我が国の教育協力にとっても画期的な段階を迎えることになる。また同州では、施設整備(ハード面の)支援を中心とした世銀の基礎教育プロジェクトが2006年で終了し、右に提案する新規JICA協力は次のステップとして非常に効果的であると考えられる。

さらに、2005年より同州にて開始予定の地域保健医療行政サービス改善計画と右新規教育協力案件とのセクターを越えた連携も計画されている。具体的には、同じ対象県において同じコミュニティユニットを通じて教育と保健の協力を展開することにより、学校保健と地域医療の連携、効果的保健教育、保健知識の啓蒙などもこの協力で可能になる。このように、保健協力と教育協力が連携して実施されることは、我が国ODAでも初のケースとなり、地方分権化後の社会開発システム向上の協力に関する雛形(モデル)となることが大いに期待される。

我が国援助方針との整合性

貧困削減に資する協力であり、我が国援助方針との整合性は非常に高いと判断される。また、東部インドネシア開発における拠点である南スラウェシ州にて実施する人間の安全保障も踏まえた総合的な地域開発の柱の1つとなる案件であり、この意味からも本案件の整合性・必要性は高い。

案件概要

1) 上位目標

地方分権化後の社会開発システムの雛形(モデル)が形成される(保健分野の協力と連携することにより)。南スラウェシ州の基礎教育が改善され、義務教育が達成される。

2) 案件の目標

対象地域の前期中等教育の質向上、基礎教育のアクセス拡大、学校および教育システムのマネジメントが強化される。

3) 成果

- (1) 対象地域における前期中等教育の現状・ニーズが明確になる。
- (2) 県・郡・学校レベルでフィージビリティの高い教育改善計画および教育財務計画が整備される。
- (3) 郡レベルで校長会や教員教科研究会(MGMP)を中心とした効果的な各種教育改善活動が実施される。
- (4) 授業研究を取入れた理数科MGMP活動のモデルが構築される、
- (5) 対象中学校において教育環境整備およびより有効な学習活動が展開されるようになる。
- (6) 教育行政官、校長のマネジメント能力、教員の専門性およびクラスマネジメント能力が向上する。
- (7) 県教育局や学校委員会が、特に行政や学校運営の説明責任や透明性という点において、有効に機能するようになる。
- (8) 地域社会の教育の必要性に対する意識が高まる。

4) 活動

【準備活動（事前調査、準備研修および実施体制の整備）】

- ① 前期中等教育の現状・ニーズ調査（MGMP活動の現状も含む）の実施、各種活動の計画
- ② プロポーザル事業実施要領の作成
- ③ 対象郡に郡の地域教育改善チーム（TPK）の立ち上げ
- ④ 各レベルのステークホルダーに対する事業の理解促進会合の開催
- ⑤ 各種活動のファシリテーターを養成
- ⑥ 中学校改善計画作成のための研修および中学校改善計画立案支援
- ⑦ 県・郡（州レベルの担当者も含む）担当行政官に対するワークショップの開催（地域教育改善計画作成・財務計画の作成）
- ⑧ 行政官、学校長、教員、各委員会の自己評価＋目標設定
- ⑨ ベースライン調査の実施

【実施活動（各種研修および活動の実施）】

- ① T P K（郡教育改善チーム）プロポーザル事業費により郡の前期中等教育改善計画の実施（対象地域の基礎教育改善を対象とした事業）
- ② 地域の大学と連携し、MGMPを通じた現職教員研修実施（主に理数科分野）
- ③ 学校プロポーザル事業費による中学校改善計画の実施（対象地域の学校毎の事業）
- ④ 評価・普及ワークショップを定期的に行う
- ⑤ 県教育行政官、指導主事に対するプロポーザル事業運営のためのO J T研修の実施
- ⑥ T P K、校長、教員、学校委員会対象ファシリテーター養成研修実施
- ⑦ 中間評価調査の実施

【終了活動（評価・フォローアップ）】

- ① エンドライン調査の実施
- ② 活動実施要領、各種研修マニュアルの改訂
- ③ 持続発展のための提言、普及モデルを提示

5) 投入

日本側投入

- ・ 専門家（実施・監理）130人月＝**195百万円**
- ・ ローカルコンサルタント 州付きコンサルタント 60人月×0.2百万円＝**12百万円**
各県につき3人 3県対象⇒9人×54ヶ月＝486人月×0.1百万円＝**48.6百万円**
- ・ チーム活動費（域内出張、交通費など）10百万×5年＝**50百万円**
- ・ 研修開催費（TOT、県、郡、学校レベル） 2百万円×6回×5年＝**60百万円**
- ・ ブロックグラント資金：**500百万円**
（ブロックグラント内訳）
 - ・ TPKブロックグラント 約20郡（3県）×0.5百万円×5年＝約50百万円
 - ・ 学校ブロックグラント 学校約300校×0.3百万円×5年＝450百万円
- ・ 影響調査 5百万円×3回＝**15百万円**
- ・ C/P研修：5名×0.5ヶ月×5年＝**26.3百万円**
- ・ 供与機材：**5百万円**

日本側投入合計：911.9百万円

相手国側投入

- （1）ワークショップ開催費、C/P出張旅費、州・県コーディネーティング経費など約10,000,000,000ルピア（想定）
- （2）インドネシア側の主導による事業の全国的な展開に合わせて、各地方政府（県レベル）により、必要な予算が確保される。
- （3）カウンターパート、必要な執務環境

6)外部条件

実施体制

中央レベルカウンターパート：国民教育省初中等教育総局

地方レベルカウンターパート：州政府、州および県の教育局、郡事務所、学校、地域住民、MGMP

協力期間

2007年4月～2012年3月

協力額概算

（内、19年度分実施予算）

（内、18年度以前実施予算）

911.9百万円

188.5百万円

0百万円

環境社会配慮 (技術協力プロジェクト・開発調査及び無償資金協力案件については、別紙「環境社会配慮ガイドラインに基づくスクリーニング様式」に必要事項を必ず記入し、本調査票と併せ提出下さい。)

関連する援助活動 ●JBICとの連携の有無 有り 無し

1)我が国の援助活動

(有償資金協力等との連携について、案件名のみではなく、連携内容等についても言及する)

- ・南スラウェシ州地域開発プログラム (2005～2009年度)
南スラウェシ州前期中等教育改善総合計画は、南スラウェシ州地域開発プログラムの「社会開発促進」サブプログラムとして位置づけられている。同サブプログラムでは、平成18年度に「地方行政アドバイザー」(個別専門家)を派遣し、県レベルの教育行政運営にかかわる支援を行うと共に、初等教育を対象とした「南スラウェシ州小学校校舎改修計画」(無償)を実施する予定である。さらに、村落開発(主に教育・保健医療分野)分野のJOCVを派遣し、学校レベル、地域保健センター、コミュニティレベルでの指導を行っていく予定である。
- ・インドネシア地域教育開発支援調査フェーズ1 (1999～2001年度)
- ・インドネシア地域教育開発支援調査フェーズ2 (2002～2004年度)
- ・インドネシア地方教育行政改善計画プロジェクト (2004～2008年度)
- ・初中等理数科教育拡充計画 (1998～2005年)、及び後継技プロ (2006年～)
- ・地域参加型地方教育計画立案研修 (1997～2004年度)
- ・JBIC中学校建設プロジェクト (直接的関連はない)

2)他ドナー等の援助活動

- ・WB: Basic Education Project
- ・WB: Kecamatan Development Project (Education Component)
- ・USAID: Decentralized Basic Education, Managing Basic Education
- ・UNICEF: Creating Learning Communities for Children
- ・GTZ: Science Education Quality Improvement Program など

ミレニアム開発目標との関連 (関連性の深いと考えられる順に3つまでポップアップで入力可能)

普遍的初等教育の達成		
------------	--	--

我が国重要開発課題との関連 (関連性の深いと考えられる順に3つまでポップアップで入力可能)

教育	貧困削減	
----	------	--

人間の安全保障の視点を踏まえた案件である (当てはまる場合はマーク)

ジェンダー配慮について

郡教育開発チームのメンバーの3分の1以上女性を含めるように働きかけている。同チームの話し合いでは、家庭における生徒の学習状況や通学準備状況をよりよく把握している母親の視点も重視している。また、各種活動・研修において生徒、教員、校長、行政官、コミュニティーリーダーなど男女のバイアスなく対象としている。

類似案件からのフィードバック

これまで取組んでいたREDIPおよびIMSTEPの結果から、2プロジェクトの要素を統合した総合的な基礎教育改善に係る取り組みが期待されている。

裨益者グループの種類と規模(人数・人口) (可能な限りで男女別に記載)

- ・ 約 100 人の県教育行政官が教育改善事業運営能力を高め、地域の教育および教育行政の改善に貢献するようになる。
- ・ 約 600 人の郡教育ステークホルダーが地域の教育改善の具体的活動の展開方法を習得し、継続的に効果的活動を自律的に運営するようになる。
- ・ 約 300 人の校長が学校運営能力を高め、生徒の学力向上達成に積極的に取り組むようになる。
- ・ 約 7,000 人の教員が効果的授業研究の手法を学び、実践し、生徒の学力向上を達成させるようになる。
- ・ 約 80,000 人の生徒が効果的かつ質の高い授業を受けるあるいは参加するようになり、学力を向上させるようになる。
- ・ 約 150,000 人の保護者やコミュニティメンバーが教育の重要性に対する理解を深め、教育の質を高めるため、学校や行政との具体的連携を習得し、実践するようになる。
- ・ 約 150 人の地方政府の首長、役人、議員、教育委員などステークホルダーが、地域の教育改善の具体的方策について学び、教育行政を多角的に支援するようになる。

治安状況

通常の配慮に留まる。

その他

優先順位（先方政府順位） A B C （我が方順位） A B C

在外(現地ODAタスクフォース)コメント

これまでREDIP(開発調査および技プロ)により、主に地方教育行政および学校運営(マネージメント)に関する取り組みとIMSTEPにより、教育の質(理数科教育)に関する取り組みとして教員の質向上(専門力量の形成)を初中等教育分野の主要な取り組みとして実施してきた。これら両案件は補完関係にあり、これら 2 つの分野の取り組みを併せて実施することにより、前期中等教育の総合的な取り組みとなり、更なる成果の拡大が期待される。

また、本案件はこれまでのインドネシアにおける初中等教育分野の成果を活用して実施するものであり、先方政府からの要望も強く、貧困削減の中でも柱の 1 つとなる協力と位置づけられる。また、東部インドネシア開発支援プログラムの中でも最重要案件の1つと位置づけられる。

技術協力プロジェクト・開発調査及び無償資金協力案件については、必要事項をすべて記入の上、本様式を要請案件調査票に必ず添付してください。

1.プロジェクトの分野（該当する□をチェックしてください）

- 鉱業開発 工業開発 火力発電（地熱含む） 水力発電、ダム、貯水池 河川・砂防
 送変電・配電 道路、鉄道、橋梁 空港 港湾 上水道、下水・廃水処理 廃棄物処理・処分
 農業（大規模な開墾、灌漑を伴うもの） 林業 水産業 観光

■ 上記分野以外

2.想定される影響（該当する□をチェックしてください）

- 大規模な非自発的住民移転（規模： 世帯、 人）
 大規模な地下水の揚水（規模： m³/年）
 大規模な埋め立て、土地造成、開墾（規模： ha）
 大規模な森林伐採（規模： ha）

■ 大規模な影響はない

3.サイト（事業対象地内）もしくは周辺の状況（該当する□をチェックしてください）

- 国立公園、国指定の保護対象地域（国指定の海岸地域、湿地、少数民族・先住民族のための地域、文化遺産等）およびそれに準じる地域
 原生林、熱帯の自然林
 生態学的に重要な生息地（サンゴ礁、マングローブ湿地、干潟等）
 国内法、国際条約等において保護が必要とされる貴重種の生息地
 大規模な塩類集積あるいは土壌浸食の発生する恐れのある地域
 砂漠化傾向の著しい地域
 考古学的、歴史的、文化的に固有の価値を有する地域
 少数民族あるいは先住民族、伝統的な生活様式を持つ遊牧民の人々の生活区域、もしくは特別な社会的価値のある地域

■ 環境社会面での配慮を有する地域とは無関係

わからない

4.関係する環境社会影響（該当する□をチェックしてください）

- | | |
|---------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 大気汚染 | <input type="checkbox"/> 非自発的住民移転 |
| <input type="checkbox"/> 水質汚濁 | <input type="checkbox"/> 雇用や生計手段等の地域経済 |
| <input type="checkbox"/> 土壌汚染 | <input type="checkbox"/> 土地利用や地域資源利用 |
| <input type="checkbox"/> 廃棄物 | <input type="checkbox"/> 社会関係資本や地域の意思 |
| <input type="checkbox"/> 騒音・振動 | 決定機関等の社会組織 |
| <input type="checkbox"/> 地盤沈下 | <input type="checkbox"/> 既存の社会インフラや社会 |
| <input type="checkbox"/> 悪臭 | サービス |
| <input type="checkbox"/> 地形・地質 | <input type="checkbox"/> 貧困層・先住民族・少数民族 |
| <input type="checkbox"/> 底質 | <input type="checkbox"/> 被害と便益の偏在 |
| <input type="checkbox"/> 生物・生態系 | <input type="checkbox"/> 地域内の利害対立 |
| <input type="checkbox"/> 水利用 | <input type="checkbox"/> ジェンダー |
| <input type="checkbox"/> 事故 | <input type="checkbox"/> こどもの権利 |
| <input type="checkbox"/> 地球温暖化 | <input type="checkbox"/> 文化遺産 |
| <input type="checkbox"/> その他（ ） | <input type="checkbox"/> HIV/AIDS 等の感染症 |

■ 関連する影響は無い

3) JICA 教育協力セミナー（第一部：On-Site Seminar）出張報告書

On-Site Seminar on REDIP and IMSTEP

今般、下記の通り出張を実施致しましたので、報告致します。

1. 出張日程及び出張先

日程：2006年8月10～13日

出張先：ジャカルタ、セラン、バンドゥン

2. 出張目的

- ①南スラウェシ州教育局 C/P に対する JICA 基礎教育協力セミナーの一環として、
REDIP、IMSTEP の活動見学および担当者・対象者との意見交換
- ②同州要請案件に関する教育省初中等教育運営総局担当官との協議

3. 出張同行者

南スラウェシ州教育局長、州教育局中等高等教育課長、州教育局同課学校運営支援係長 以上3名（州教育局アドバイザーなども自費で途中から参加）

4. 業務内容

月日	午前	午後	宿泊
8月10日 (木)	マカッサル→ジャカルタ移動 (GA651)	教育省初中等教育運営総局との協議 REDIP-G 進捗報告会参加	ジャカルタ
8月11日 (金)	ジャカルタ→セラン移動 (車両) セラン県 REDIP-KIT と面談 タタカン郡 TPK との面談	セラン→バンドゥン移動 (車両)	バンドゥン
8月12日 (土)	IMSTEP - Piloting School SPMN12 Bandung における校 内授業研究活動見学	UPI チームとの意見交換 バンドゥン→ジャカルタ移動 (車両)	ジャカルタ
8月13日 (日)	ジャカルタ→マカッサル移動 (GA610)		

5. 業務の概要

1) 教育省初中等教育運営総局との協議

日時：8月10日 17:20～18:00

場所：教育省初中等教育運営総局前期中等教育運営局長応接室

出席者：教育省前期中等教育運営局長、南スラウェシ州教育局長、同局中等高等教育課長、同課学校運営支援係長、高澤

内容：

- JICA 専門家より、南スラウェシ州地域開発プログラム協力の目的、フレームワークおよび教育協力の位置づけ、計画されている案件（南スラウェシ州前期中等教育改善総合計画、南スラウェシ州小学校校舎建設計画）、要請書は同州政府から BAPPENAS 経由で提出されることなどについて解説、今回の 'On Site Seminar on JICA's Technical Cooperation in Education' の内容について説明
- 南スラウェシ州 C/P より、REDIP などボトムアップ型支援への期待、州内の体制作りなどについて報告
- 前期中等教育運営局長より、総局がこれまでの JICA の教育協力を高く評価しており、南スラウェシ州を対象としても期待される成果を上げるだろう、とコメント。また、実施準備の際に USAID-DBE1,2,3 に対する留意について言及。
- 同局長は、総局の USAID-DBE1,2,3 に対する憂慮を表明。
- USAID-DBE が教育協力であるにもかかわらず、教育省は C/P ではないことを確認（同局長）。
- その経緯：
 - USAID-DBE の準備段階で USAID 側と総局との間で幾度も協議を行ったが、現場のニーズに関する認識が全く噛み合わなかった。
 - 具体的には、小学校の場合は第一に校舎改修、教員の資格向上、マネジメント能力向上など、前期中等教育では REDIP 型の支援（システム運営能力支援）などと提案したが、USAID 側は、ハードの支援は行わない、教員研修も資格とは直結しない研修、学校マネジメント向上も OJT ではなく研修のみで、県行政のキャパビリティに関してはまだコンセプトを持っていない、ということで議論にならなかった。
 - その結果、教育省としては USAID-DBE の C/P 機関となることを拒否。
 - その後 USAID はマドラサのみを対象にするとして宗教省と協議をしたが、宗教省も USAID の C/P 機関となることを拒否。
 - USAID はその後いくつかの政府機関にコンタクトし、結局、社会福祉貧困削減調整大臣（MenKoKesra）を中央政府の C/P とし、州では BAPPEDA を C/P とするに至る（このような状況は、教育案件では初のケース）。
 - USAID-DBE の州選定や県選定の基準は C/P とも共有されておらず、選定自体も自分達で行っている。
 - 中央政府、州、県政府との調整が不十分で、自分達だけで案件を実施している印

象を各レベルの政府に対して与えている。

- USAID は南スラウェシ州では、最終的に 20 県（全 23 県/市）を対象にするとしている。
- 初等教育、前期中等教育とも対象学校数が極端に少ないため、インパクトに疑問を感じる。
- 教育省は、USAID-DBE に関しては、関知せず、オーナーシップも全くない、と断言。
- USAID の真の目的がテロ対策支援であるため、それが USAID-DBE の限界となっていると考える。州選定もそれが基準。（以上、同局長）
- 南スラウェシ州 C/P 側からも、USAID-DBE に関してはキックオフミーティングに呼ばれただけで、後の調整が全くなく、州教育局では動向も今後の予定も把握していない。県選定にも加わっていない（USAID 担当者が、県選定は BAPPEDA、教育局と参加型で行われたとする見解とは異なる）。州教育局としては、USAID との調整は必要ないとまで考えている。（南スラウェシ州 C/P）
- JICA としは、既に USAID-DBE チームにコンタクトしており、今後必要な調整は他ドナーも含めて行っていく予定である。（JICA 専門家）

2) REDIP-G 進捗報告会参加

日時：8月10日 15:00～17:15

場所：教育省初中等教育運営総局前期中等教育運営局会議室

出席者：前期中等教育運営局 REDIP-G 担当官、コンサルタント、対象 3 県担当官、対象 9 郡 TPK 代表など 約 60 人

オブザーバー：南スラウェシ州教育局長、同局中等高等教育課長、同課学校運営支援係長、高澤

内容：

- 本来なら上記 1) が先であったが、前期中等教育運営局長がある全国大会にて大臣の代行を遂行していたため、2) に先に参加することになった。（総局側のアレンジ）
- REDIP-G 担当官より、会議を一時中断し、参加者に対して、南スラウェシからのオブザーバーを紹介。
- JICA 専門家の方から州 C/P に対して事前に REDIP-JICA と REDIP-G との違いについて説明済み（REDIP-G では、就学機会拡大のため、教室増設を含めている）。
- 総局担当官からは、外国ドナーの支援をインドネシア政府の予算で実施するのは初めてのケースであり、画期的であることが強調された。
- この進捗報告会は、朝から開催されており、午前中に各県や郡からの実施の状況やこれまでのインパクトに関する報告があった。午後のセッションでは今後の優先課題についての検討会に入っていた。より正確なデータの取り方やプサントレンとのコンタクトの仕方などについて活発な議論が展開されていた。
- まだ実施一年目が終わったばかりだが、総局コンサルタントがいくつかの興味深い基礎データをその場で参加者と共有。データは、各学校、郡、県の新入生数の変化、UN

スコアの変化、学校種別の比較など。REDIP-Gの顕著なインパクトとして、昨年生徒数14人(?)のあやうく対象外になりそうだった学校で、今年の新入生数が300を超えたというケースが紹介された。UNスコアを学校種別に見ると、公立校が一番低いことが判明(都市部の特徴か)。

- 9月に2年次実施ワークショップを開催するため、それに先立ち、1年次評価シート提出、学校と総局との契約準備(校長名や口座番号などの情報の更新)について総局側から各県に伝達。
- 南スラウェシ州C/Pは会合の場で特に発言や質問はしなかったが、REDIP-Gの支援対象者らの発言、総局側との議論など興味深そうに聞き入っていた。JICA専門家がC/Pと並んで座り、詳細に関して横から解説を加えた。

3) REDIP 対象ーバンテン州セラン県 KIT との面談

日時：8月11日 9:10~10:10

場所：県教育局会議室

出席者：県教育局長、中等教育課長、その他KITメンバー(約15名)、指導主事、フィールドコンサルタント、南スラウェシ州教育局長、同局中等高等教育課長、同課学校運営支援係長、同局アドバイザー、高澤

内容：

- 当日朝、C/Pの準備に時間がかかり、出発が若干遅れ、朝のひどい渋滞に遭ったため、セラン県KITとの面談開始が遅れた。
- セラン県教育局長以下、KITメンバー、指導主事、フィールドコンサルタントらが(予想以上に)大勢で迎えてくれた。
- 両局長の挨拶の後、セラン県教育局中等教育課長が準備段階の様子、実施経緯、実施1年後のインパクトについて報告
 - 所定の要件を満たしたプロポーザルが各県からJICAに提出され、審査の結果、2県が選定された。
 - 実施1年目の最初から、KITは指導主事、フィールドコンサルタントと頻繁に打ち合わせを行いながら業務を進めてきた。プロポーザル審査も協力して行った。
 - プロポーザルの各活動が実際に郡や学校で行われているか、指導主事、フィールドコンサルと協力してモニタリングを行った。
 - REDIPが開始して、初めて一貫した効果的教育行政業務の進め方を経験していることを実感している。KIT(県実施チーム：教育局、宗教省、バペダなどの複合チーム)でプログラムのマネジメントに取り組んでいることも効果的である。REDIPが効果的教育行政の具体例を提供してくれている。
 - 現在県内34郡あるが、REDIP-JICAで対象となっていない20郡について、今後県政府の予算で支援できるように、教育局から県政府に積極的な働きかけを行っていく予定である。バペダや県議会とは話を始めている。

- 現在までの県の C/P 予算は、年 1 億 7 千万ルピアで、活動モニタリングや会合など KIT の活動費に充てられている（これまでプレブス視察やワークショップも独自に開催）。
 - REDIP によって、対象郡の普通中学校と宗教中学校との連携、一体感、相乗効果が生まれた。
 - 現場のニーズをいかに支援するのか、ボトムアップ方式の具体的手法について学んだ。
 - 質の点では、郡レベルの生徒教科競技大会や弁論大会などが各地で開催され、県大会、州大会など上のレベルでの入賞者が増え、それらの大会に参加した生徒の学力の向上も確認されている。
 - マドラサのマネジメント（計画、実施、活動、成果など）が劇的に改善され、保護者や地域との連携が生まれている。
 - REDIP により、宗教省と教育局の行政官、指導主事の連携をすることとなり、教育行政の改善方法を具体的に話す機会が出来、同じ目標に向かっているという連帯感が生まれている（この連携を通じて、宗教省側の教育行政の能力も向上している）。
 - 対象郡や学校全て 100%合格とは言えず、いくつかの学校、マドラサは依然として全般的な技術支援が必要であるが、少数派である。各種問題も最低限で済んでいる。
 - 校長らや指導主事も各校を回っていて、学校主体の運営（School-Based Management）ということはどういうことだと実感するようになった。校長らの学校改善に対する自信にも繋がっていることが観察される。
 - 数々の成果の主な要因の一つは、フィールドコンサルタントの学校、郡に対する密で献身的な指導である。
 - 各種活動を通して、TPK、校長、教員の能力が向上していく場合、保護者や地域社会もそれを観察・認識して、彼らの教育に対するサポートが広がるという相乗効果が観察される。
 - 郡を支援対象としていることで、コミュニティが、行政は地域を支援していると実感し、コミュニティも地域の教育に貢献しようという意識が生まれていると思われる。
- ➡ 州教育局長より質問：
- REDIP ではコミュニティの役割が重要だということが理解できたが、具体的にどのような貢献が要求されるのか。
 - 金銭的貢献はどのぐらい義務付けられているのか。ファンドレイジングの方法は？
 - REDIP では県政府はどの程度の C/P 予算負担が条件となるのか。
- ➡ これに対して、県政府の負担に関しては今のところ条件とはなっていないが、今後県政府と協議に入ること、コミュニティの負担に関しては、学校で活動費の 1 割程度、TPK は義務付けがなく、主体性に任せているが、貧困層の多いコミュニティには強制はしないこととしている、など KIT、フィールドコンサルタント、JICA 専門家が解説。

4) REDIP 対象ーバンテン州セララン県タクタカン郡 TPK、校長との面談

日時：8月11日 10:40～11:20

場所：郡教育事務所

出席者：TPK メンバー、校長（約 10 名）、フィールドコンサルタント、南スラウェシ州教育局長、同局中等高等教育課長、同課学校運営支援係長、同局アドバイザー、高澤

内容：

- まず、TPK 長（郡教育事務所長：女性）から概況報告
 - 郡内全 5 校（SMP/MTs）が対象
 - 郡内の当該学齢人口約 4,500 人のうち、約 1,700 人が学校に行っているが、その他はパケット B 受講やプサントレンに在籍。
 - REDIP 開始後、TPK を通じて校長、教員、郡行政官などで頻繁に調整を行うようになり、連帯感が生まれ、様々な活動も盛況である。
- 南スラウェシ州 C/P から質問：
 - 1) REDIP のほかに教育省や BOS など数多くのプログラムの対象になっていると思うが、他のプログラムとの調整、重複回避をどのように行っているのか。
 - 2) REDIP の活動を一年実施した後、実感される変化は？
 - 3) TPK、学校での具体的活動は？
 - 4) 学校委員会はどのようにファンレイジングを行っているか。
 - 5) 学校レベルの活動で、施設整備、教員研修、生徒対象の活動などどのような比重になっているか。
- TPK から回答：
 - a) 他プログラムとの調整は、学校予算計画(RAPBS)に全て盛り込むことによって行われている。
 - b) 実施後一年で実感される変化は、School-Based Management とはどういうことが具体的理解できたことである。
 - c) TPK では、郡レベル校長会、教員研究会設立、コミュニティを対象とした啓蒙活動などを計画、学校レベルでは、新カリキュラム対応の研修、課外授業の充実など。（以上、公立中学校校長の回答）
 - d) 私立マドラサ学校委員（保護者代表）がこれまでの変化について、学校がマネジメントを意識するようになった、教員の意欲が高まった、コミュニティも校舎改修などに協力した、保護者が生徒の出席状況改善に協力するようになった、など回答。
 - e) 郡行政官より、校長、教員、生徒のモチベーションが高まった、TPK も各校の活動計画をモニタリングしている、徐々に各校での活動の運営状況がスムーズになっている、TPK で各校の REDIP 支援と BOS が重複していないか確認済みで、この郡では今のところ重複は確認されていない、との回答。
 - f) 上記 4) の回答として、学校のフェンス整備で、REDIP のファンドを少し充て、その残り（REDIP からの予算の何倍か）をコミュニティが進んで支援した、と具

体例を報告。

- g) 上記5) に対して、公立中学校では、生徒対象の活動が一番多く、次いで教員研修活動、施設整備が一番少ないと回答。

* 時間の関係で、カラマトゥワトゥ郡訪問は中止となった。

5) IMSTEP Piloting Schoolーバンドゥン市第 12 中学校授業研究会

日時：8月11日 7:50～11:30

場所：バンドゥン市第 12 中学校

出席者：同校校長、同校教員、UPI 教官、他教育大学教官（約 40 名）、南スラウェシ州教育局長、同局中等高等教育課長、同課学校運営支援係長、同局アドバイザー、SISTTEMS 齊藤専門家、高澤

内容：

- 今回の授業研究会は、インドネシア教育大学(UPI)主催の西インドネシア地域旧教育大学理数教育学部教官対象の授業研究セミナーの一部として行われた。全 4 校 4 教科の公開授業が同時並行で実施された。
- 公開授業の前に、校長より校内授業研究会および授業研究の見学の方法などについてブリーフィング。
- 授業は 7 年生 1 学期理科（物理）90 分授業
- 授業内容：水の融点、沸点から目盛りのない温度計に目盛りをつけていく実験、作業
- 以下授業の進行に関する観察（日本の授業研究と比較した筆者の観察）：
 - 今回の担当教員は、市内か州内？の大会で準優勝するほどの地域では評価の高い教員。非常に物腰が柔らかく、生徒との関係も権威ではなく、学びの活動で繋がっているという印象を受けた。生徒も体を前に乗り出し、学びに対して貪欲な様子で、友達同士、男女間とも仲がよい。このように教員も生徒達も、理想的な響き合いの授業成立のポテンシャルが高い。
 - 実験前の仮説/理論の確認、実験結果のまとめなどの時に、数人の生徒が挙手で発言をしていたが、各発言の後に、教員が全員に対して「皆も同じ意見？」生徒全員「はい！」、「Aさんの意見に賛成？」生徒全員「賛成！」というふうに流れてしまっていた。個人的には、ここで対話が切れてしまう、と観察。生徒の間の理解の多様性や、個々の発見、意見や理解の違いから学ぶということはここでは反映されない。多分生徒がある程度分かっていることの確認作業だったため、対話が生まれにくい状況だったとも思われる。
 - 授業の進行のスピードが速く、発言する生徒も早口で、落ち着いて聴き合う、考える、のが困難ではないかとも感じられた。競って発言する、という場面が多かったのも、そのスピードに拍車をかけたと思われる。教員は、正答ごとに紙のマークを生徒に渡していた。担当教員は協議会で、ゲーム的要素を多少入れて、生

徒のやる気をより引き出したかった、とその点について解説。

- いろいろと発展性のある水を使った実験だが、とにかく生徒、教員とも作業に集中して、融点、沸点、温度計の目盛り、以外には話が広がらなかったことが残念に感じられた。
 - この学校の校内授業研究会における今後の課題として、次の点が浮上。このクラスに関しては、教員も生徒も少しの工夫で理想的な聴き合い、学び合いのできる基盤があると思われる。教員に対するさらなる適切かつ効果的な助言、あるいは教員自身の気づきを引き出す支援が必要。
- 今回、南スラウェシ州 C/P は初めて授業研究の実例を見学したわけだが、授業のオブザーバーのマナーとして「教員や生徒の活動や集中の邪魔にならないように、静かに後方から観察する、のが常識的マナーだ。前から見るのは理解できない」（中等高等教育課長）と今のところ主張。これが、インドネシアでの一般的認識。これから彼らと授業研究についての理解を深めていくわけだが、長い、長い道のりとなると思われる。

[特記事項]

- 1) の総局側の USAID-DBE に関するコメントに、案件形成段階の C/P との協議においてさらなる慎重さが求められること、極端な Supply-Driven の援助案件はこのような状況に陥ってしまうということ、など、様々な教訓が含まれている。
- 南スラウェシ州 C/P は、どの訪問先でも皆熱心に活発なディスカッションを展開していた。REDIP、IMSTEP の活動を見学、当事者との意見交換を通じて、目的、メカニズム、効果についての理解が進んだと述べている。
- 今回の IMSTEP パイロット校授業研究会公開授業は、今後の SISTTEMS 型教員研修支援の方向性を考える意味でいろいろと示唆に富む授業となった。
- REDIP-G の進捗は、細部を除き、概ね順調で、実施側の士気が上がっていることが観察された。ワークショップにおける県や郡からの参加者の反応も終止熱が入っていた。今後の展開にも大いに期待される。

以上

IMSTEP Overview



August 31, 2006
JICA Expert

Objectives

- Indonesia Mathematics and Science Teacher Education Project
- Improvement of research and educational capacity of FMIPA at 3 teacher education institutes: UPI, UNY, UM
- To supply higher standard, well educated teachers to schools

IMSTEP & Follow-up

1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

IMSTEP

UPI, UNY, UM

Piloting Schools
Hands-on Activity

IMSTEP Follow-up

UPI, UNY, UM

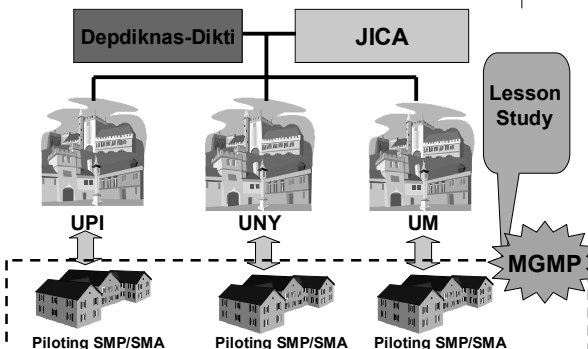
Piloting Schools
Lesson Study

SISTTEMS

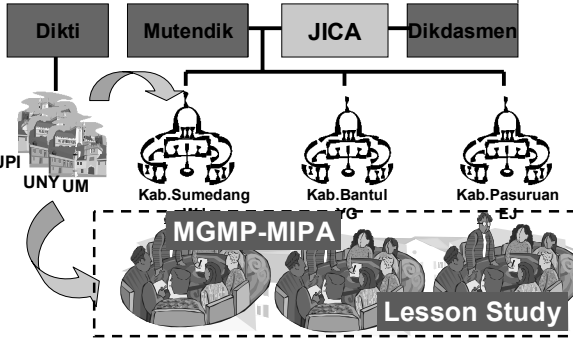
Lesson Study
MGMP

3 Model Districts
UPI, UNY, UM

IMSTEP Mechanism



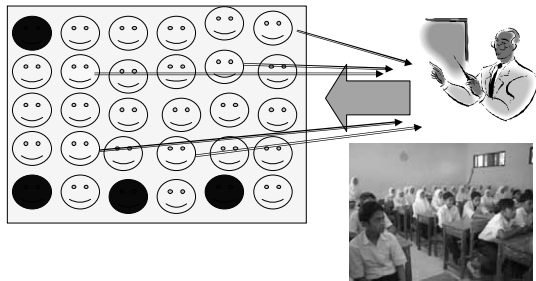
SISTTEMS Mechanism



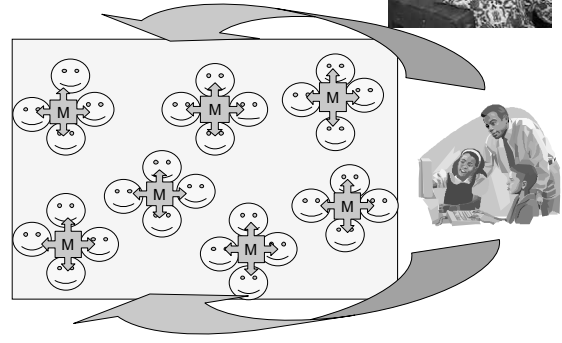
Characteristics of Lesson Study

- Teacher Professional Development
- School-based In-Service Teacher Training
- Plan-Do-See:
 - Lesson plan and preparation – Open lesson and observation – Reflection and feedback)
- Frequent open lessons
- Peer learning with colleagues
- Focusing on 'How students learn' rather than 'How teachers teach'
- Optimization of students' Individual learning

Conventional lecture style



Collaborative Learning 1



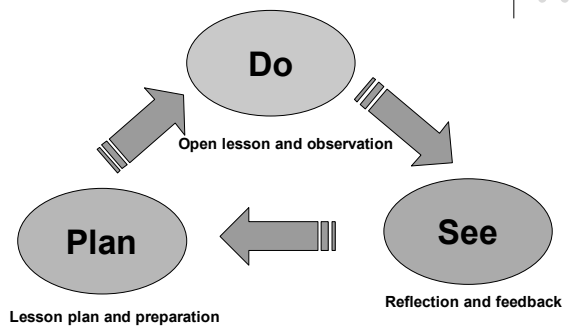
Collaborative Learning 2

- 1) Activity (hands-on / discussion theme)
- 2) Collaboration in small groups
- 3) Sharing expression



- Applicable to all subject matters and all levels

Teacher Professional Development in Lesson Study



Reflection

- Focusing on 'How students learn' rather than 'How teachers teach'
- Productive and constructive analysis
- Feedback to every colleague teacher
- Learn together how to care for students

Impact of Lesson Study in Japan

- Students no longer escape from/ avoid 'learning'
- Number of 'School Refusals' drastically decreased
- School-based Teacher Professional Development has been enhanced
- Teachers change → Lessons will change
→ Students will change → School Reform
- Lessons attract students
- Introduced and implemented in other countries (Singapore, Korea, China.....)

Supporting Students' Learning Achievement



- Students' nature: always hungry for new knowledge and intellectual stimulation and curious about day-to-day matters
- Teachers' responsibility to fulfill students learning needs
- Quick response to individual academic curiosity
- If a teacher doesn't challenge himself/herself in a lesson, students will not learn
- Collegiality among teachers and principals
- Lesson as a domain of study (joint study with universities)

What is Special in Lesson Study?



- Secure 'Rights of Education for each child' in a lesson
- Treat students as respectable individuals
- Students feel well-cared and protected
- Frequent open lessons to colleagues
- Teachers work as a team (not individuals) and share responsibilities
- Transcend grades and subject matters
- Partnership between schools and universities
- An approach for school reform (the lesson is the most important element of school reform)



Terima Kasih Atas Perhatian

GAMBARAN UMUM MENGENAI

Workshop Perencanaan

REDIP

Workshop-workshop REDIP

- Perencanaan Pendidikan tkt. Kabupaten
- Perencanaan Pendidikan Tkt. kecamatan dan Sekolah
- Perencanaan Pembiayaan Pendidikan tkt Kabupaten.

Workshop Lainnya :

Penyiapan Proposal & Pengelolaan keuangan dalam Implementasi

Prinsip

- Perencanaan Partisipatif
- Perencanaan dengan membangun konsensus dan membuat komitmen

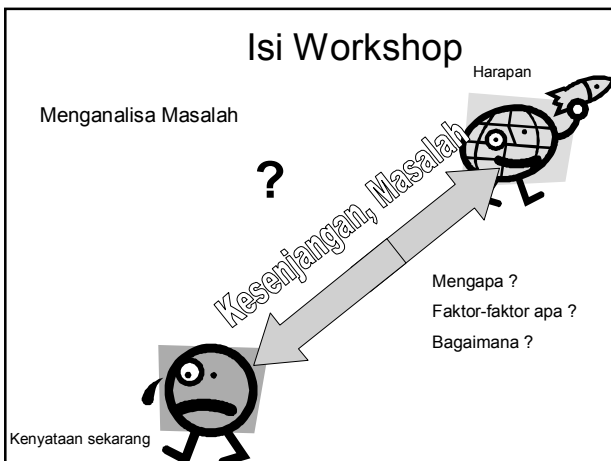
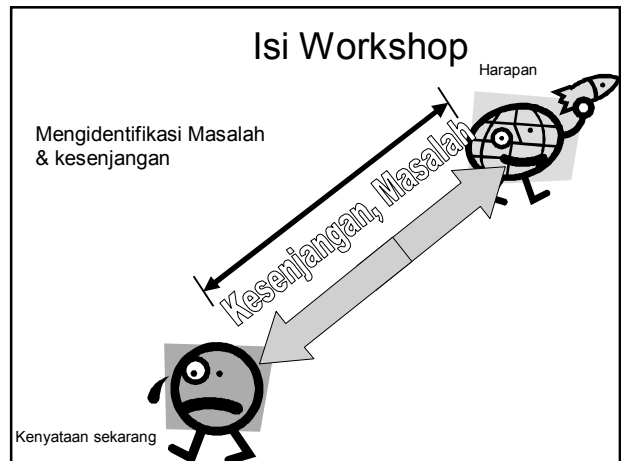
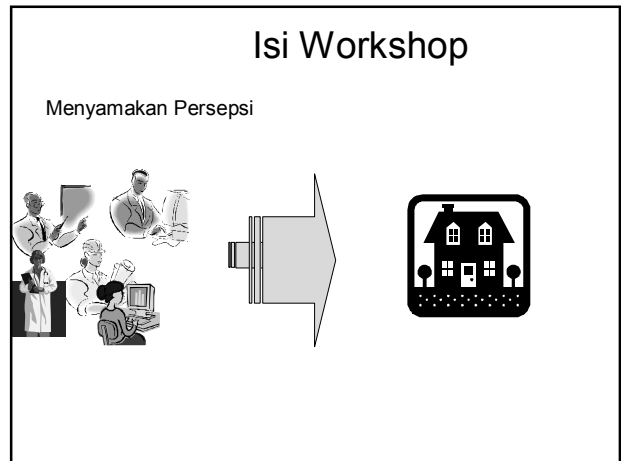
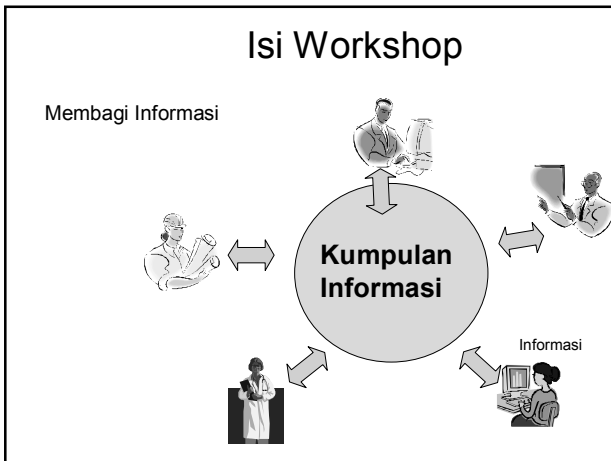
Pendekatan

- "Learning by doing"

Partisipan (Expert)

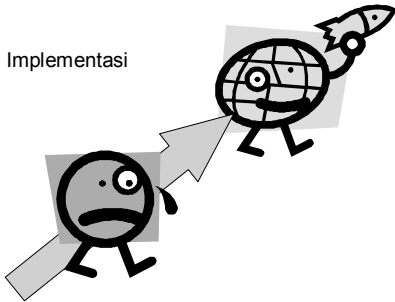
- Dinas pendidikan
- Kandep Agama
- BAPPEDA
- DPRD (komisi pendidikan)
- Dewan Pendidikan
- TPK
- Kepala sekolah
- Komite sekolah

Isi Workshop Perencanaan



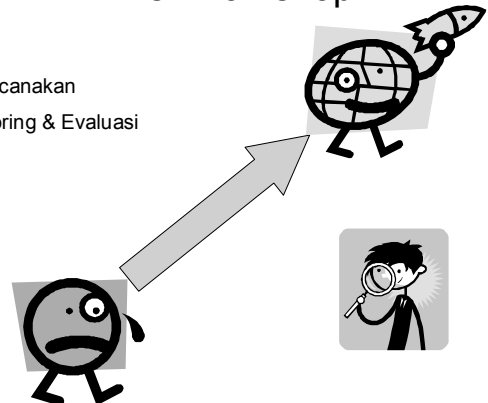
Isi Workshop

Mengoptimalkan Implementasi



Isi Workshop

Merencanakan
Monitoring & Evaluasi



Kekuatan Implementasi REDIP dibentuk melalui

- Visi yang jelas dan disepakati bersama
- Komitmen para stakeholder
- Rasa memiliki

PROSES PERENCANAAN YANG
PARTISIPATIF





Jangkauan REDIP 1 & REDIP 2

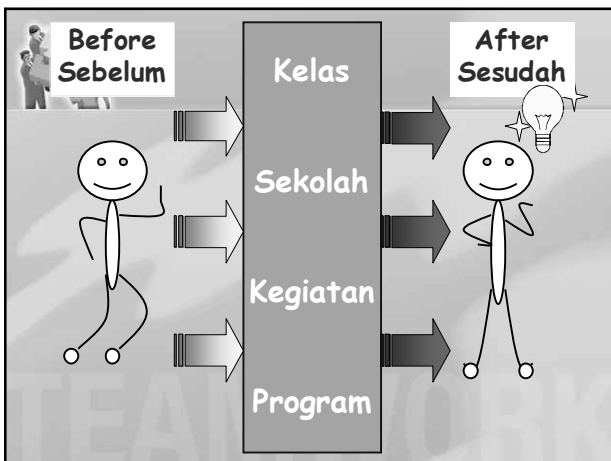
Target	Province	Kabupaten/Kota	Kecamatan	SMP/MTs
REDIP 1	Sulut	Kod. Bitung	1	17
		Kab. Minahasa	4	
	Jateng	Kab. Brebes	2	15
		Kab. Semarang	2	
		Kab. Demak	2	
Kab. Klaten Kab. Wonosobo		2		
Total	2	7	15	154
REDIP 2	Sulut	Kod. Bitung	4	26
		Kab. Minahasa	10	
	Jateng	Kab. Brebes	10	96
		Kab. Pekalongan	9	
Total	2	4	33	292

Jangkauan REDIP Extensi & REDIP-G

Target	Province	Kabupaten/Kota	Kecamatan	SMP/MTs
REDIP Extension	Sulut	Kod. Bitung	5	26
	Jateng	Kab. Brebes	19	174
		Kab. Pekalongan	17	
	Banten	Kab. Serang	14	131
Kab. Pandeglang		10		
Total	2	7	65	505
REDIP-G (APBN)	Jabar	Kab. Bogor	3	29
		Kab. Bekasi	3	62
	Banten	Kab. Tangerang	3	55
Total	2	3	9	146

Jangkauan REDIP-Aceh

Target	Province	Kabupaten/Kota	Kecamatan	SD/MI SMP/MTs
REDIP Aceh	NAD	Kab. Aceh Besar	7	100
Total	1	1	7	100



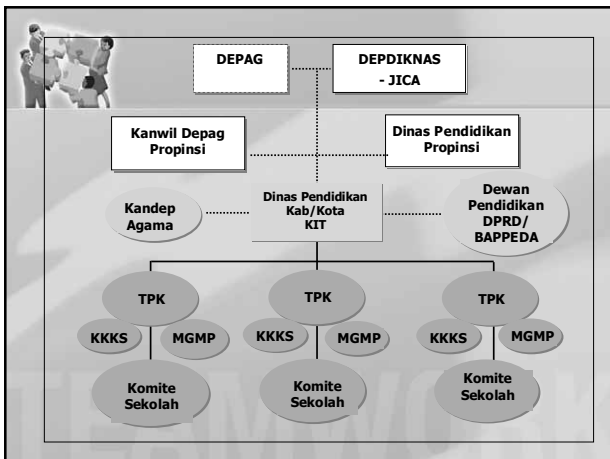
REDIP Memberi

- `Kesempatan Belajar` kepada sekolah dan masyarakat**
 bagaimana mengatur sistem pendidikan yang efektif atau menjalankan manajemen yang efektif di tingkat sekolah, kecamatan, dan kabupaten baik melalui dukungan teknis maupun keuangan

SIKLUS PENINGKATAN PENDIDIKAN DALAM REDIP

The cycle consists of the following steps:

- Membentuk Organisasi yang Diperlukan Sosialisasi & Pelatihan
- Meninjau dan Mengevaluasi
- Menetapkan Tujuan/Visi
- Menganalisis Situasi Sekarang
- Mengembangkan Rencana dan Kegiatan
- Menyusun Proposal
- Melaksanakan Kegiatan



Dukungan REDIP

- Kegiatan TPK**
 (TPK: Unit masyarakat, Kelompok SMP/MTs yang efektif)
 Sosialisasi, lomba antar sekolah, dll.
 MGMP, KKKS (Di Tingkat Kecamatan)
- Kegiatan Sekolah**
 Pengembangan Metode Pengajaran Belajar yang aktif dan efektif
 Penelitian Tindakan Kelas
 Kunjungan Rumah, dll.

Dukungan REDIP

- Pengembangan Kemampuan Daerah**
 Menjalankan REDIP (Belajar sambil bekerja)
 Pengembangan Sistem Informasi Manajemen Pendidikan
 Pengembangan Fasilitas untuk manajemen sekolah dan pemberdayaan masyarakat

LANGKAH-LANGKAH POKOK DALAM REDIP

Perencanaan Mikro (Pengembangan Rencana Sekolah)	Pelatihan perencanaan Sekolah dan kecamatan Analisis Situasi Sekarang Pengembangan Rencana Pendidikan di Sekolah /Masyarakat Pengembangan Rencana Kegiatan
Penyusunan Proposal	Pengembangan Proposal oleh Komite sekolah Pengembangan Proposal oleh TPK
Penilaian Proposal	Penilaian proposal oleh Dinas Kabupaten/Kota Negosiasi Anggaran di DPRD → Masa Depan
Implementasi Kegiatan Tahap 1	Pelatihan akuntansi Pencairan Dana Matching Fund (Sekolah) Pemantauan oleh Dinas Diknas Kabupaten/Kota
Evaluasi Tahap 1	Evaluasi diri oleh Komite sekolah dan TPK Penyusunan Laporan Kegiatan Penyusunan Laporan Keuangan
Implementasi Kegiatan Tahap 2	Pemantauan oleh Dinas Diknas Kabupaten/Kota
Evaluasi Tahap 2	Evaluasi diri oleh Komite sekolah dan TPK Penyusunan Laporan Kegiatan Penyusunan Laporan Keuangan

TRANSPARANSI DAN AKUNTABILITAS

Proses Perencanaan yang Terbuka

↓


Konsensus Proposal

↓

Keterbukaan terhadap Rencana Pengembangan Sekolah, Rencana Pengembangan Pendidikan Kecamatan, Penempelan Proposal di papan Mading

↓

Sebagai dasar untuk kerjasama dan saling percaya.



Activity Analysis 1

	Item 0	Item 1	Item 2	Item 3	Item 4
		Procurement			Rehabilitation
	General administration	Procurement 1 (textbooks, dictionaries, learning materials, library books, etc.)	Procurement 2 (sports goods, musical instruments, audio equipment, sewing machines, etc.)	Procurement 3 (school furniture)	Rehabilitation
Brebes	5.82%	12.36%	11.63%	11.68%	26.95%
		35.66%			
Pekalongan	6.79%	14.16%	22.08%	8.29%	26.49%
		44.53%			
Minahasa	13.47%	21.78%	9.36%	6.39%	24.46%
		37.53%			
Bitung	4.98%	46.36%	16.07%	6.10%	11.31%
		68.54%			

Activity Analysis 2

	Item 5	Item 6	Item 7	Item 8	Item 9	Item 10	Item 11	Item 12		
	Extra classes, subject contests, etc.	Openings meetings, art festivals, school excursions, etc.	Seminar, school promotion, socialization campaign, etc.	Open school, home visit	Publication of newsletter, school newspaper	Fund raising activities	Scholarships	Training for teachers, administrative staff, students, etc.	Proposed Total Budget	REDIP? Total Budget
Brebes	11.36%	4.86%	2.86%	3.91%	0.00%	0.47%	1.00%	7.09%	100%	67.94%
					31.56%					
Pekalongan	4.25%	6.62%	2.46%	1.37%	0.00%	0.19%	0.25%	7.62%	100%	89.64%
					22.19%					
Minahasa	12.01%	4.95%	2.11%	0.83%	1.27%	0.15%	0.00%	3.20%	100%	84.98%
					24.52%					
Bitung	9.68%	4.75%	0.38%	0.08%	0.00%	0.00%	0.00%	0.29%	100%	92.03%
					15.18%					

REDIP Co-financing

	2004/05	2005/06	2006/07	2007/08
Bitung	APBD 100	APBD 100	APBD 100	APBD 100
Brebes	APBD 40	APBD 60	APBD 80	APBD 100
Pekalongan	JICA 60	JICA 40	JICA 20	
Serang Pandeglang		100	APBD? JICA 90?	APBD? JICA 80?

Impact Analysis (Surveys)

		Province	North Sulawesi, Central Java	Banten				
		District	Bitung, Brebes, Pekalongan	Serang, Pandeglang				
		Subject schools	REDIP Schools	REDIP Schools	Control Schools			
	Target	Method	Baseline	Interim	Baseline	Interim	Baseline	Interim
School	1 Schools	Questionnaire	△	⊙	○	⊙	○	⊙
	2 Principals	Questionnaire	△	⊙	○	⊙	○	⊙
	3 Teachers	Questionnaire	△	⊙	○	⊙	○	⊙
	4 Students	Questionnaire	△	⊙	○	⊙	○	⊙
Community	5 Leaders (TPK)	Interview	N/A	⊙	N/A	⊙		
	6 General (parents)	Interview	N/A	⊙	N/A	⊙		
Government	7	Questionnaire	○	⊙	○	⊙	N/A	⊙
	8 KIT	Interview	○	⊙	○	⊙		
	9 School Supervisors	Questionnaire	○	⊙	○	⊙		



Terima Kasih atas Perhatian

**Terms of Reference (TOR) for
The Baseline Survey on Basic Education & Health Sectors in
South Sulawesi Province**

Background of the Survey:

The Japan's ODA Task Force and the Provincial Government of South Sulawesi have agreed upon the implementation of the South Sulawesi Regional Development Program (SSRDP). The SSRDP consists of three pillars:

- 1) Urban development as driving force for provincial regional development,
- 2) Well-balanced development in the whole region, and
- 3) Social empowerment.

Service delivery system improvement in education and health is one of the components in the social empowerment sub-program.

Japan International Cooperation Agency – Makassar Field Office (JICA-MFO) determined to conduct the baseline survey on basic education and health sectors in all districts (23 districts) in the province as a part of the above noted program. This survey aims at supporting database development for effective regional development planning, especially in social development. The collected data through the baseline survey will be analyzed from many different angles. The results of the analysis will provide concrete pictures of current status of service delivery in education and health sector in the region and be shared among the concerning institutions and JICA.

Objectives of the Survey:

This survey aims at:

Basic data collection of basic education (primary and junior secondary education) and health in all districts (23 districts) in South Sulawesi Province

Scope of the study:

1. Preparation and Field-test

1.1 Confirming the listed data in education and health sector, design of the developed data sheets, and the methodology of the field survey through the orientation by JICA-MFO (Senior Program officer, Experts, and Program Officers)

1.2 Field-testing the methodology with the developed data sheets in the neighboring two to three districts through strictly following the instructions by JICA-MFO.

1.3 Revising the methodology and the data sheets based on the result of the field-test (1.2).

1.4 Scheduling the field survey in the target districts.

1.5 Receiving an official letters to support the field survey from the Provincial Education Office (Dinas Pendidikan), the Provincial Health Office (Dinas Kesehatan), and the Regional Development Planning Bureau (BAPPEDA).

1.6 Contacting the District Education Offices (Dinas Pendidikan), District Health Offices (Dinas Kesehatan), and District Regional Development Planning Bureau (BAPPEDA) and informing the baseline survey schedule to the each office in the target districts.

2. Field survey

2.1 Conducting field visit and data collection in the target districts.

2.2 Visiting the District Education Offices (Dinas Pendidikan), District Health Offices (Dinas Kesehatan), and District Regional Development Planning Bureau (BAPPEDA) in each target district.

2.3 Collecting all required data and fill the data sheet (using one sheet for one institution).

2.4 Requesting consultation to Program Officer or JICA Expert in case a surveyor cannot access requested data in the field.

2.5 Filling the Field Visit Sheet with the signatures of officials in charge of the data at each office as an evidence of the field visit by each surveyor (see an attachment).

3. Data Entry

3.1 Entering collected data from the field survey into excel data sheets on PC and creating electronic files.

4. Reporting

4.1 Submitting the Field Survey Report and presenting the contents to JICA-MFO.

* The surveyors are required frequent consultation and approval by JICA-MFO at least by each step of the study progress (above noted 1-4).

Expected outputs:

- 1) Field-tested data sheets (education and health)
- 2) Database of electronic files on CD
- 3) Field Survey Report
 - ▶ methodology
 - ▶ Schedule in the field
 - ▶ reasons of any blanks and irregularities
 - ▶ findings or remarks

Period of the survey

September – November 2006

✓ Confirming the TOR:	4 th week of August, 2006
✓ Preparation and Field-test:	1 st week of September, 2006
✓ Field Survey:	2 nd week of September–4 th week of October, 2006
✓ Data Entry:	4 th week of October, 2006
✓ Reporting:	2 nd week of November, 2006

Requirement for the Surveyors

► Social Development Statistics Specialist:

- Degree in Statistics or an alternative appropriate discipline
- At least 5 years experience in conducting statistical study on basic education and health
- At least 5 years experience in field survey, data collection, data entry, and data analysis in education and health sector
- A sound understanding of national and regional government administration and their operational procedures in Indonesia
- A sound understanding of basic education and health administration system
- Sound communication skills with government officials
- Competency with PC

Kabupaten/Kota Baseline Survey

Source: Dinas Pendidikan

Contact Person:

Tel:

Education (Administration and Schools)

	2001	2002	2003	2004	2005
	2001/2002	2002/2003	2003/2004	2004/2005	2005/2006

1	Number of Kecamatan				
2	District Population				
3	Age Group Population	13-15 years old			
4		7-12 years old			
5		0-6 years old			
6	Number of Schools	Public SD			
7		Private SD			
8		Public MI			
9		Private MI			
10		SD/MI Total			
11		Public SMP			
12		Private SMP			
13		Public MTs			
14		Private MTs			
15		SMP Terbuka			
16		SMP/MTs Total			
17	Number of Students	SD/MI Total			
18		Public SD			
19		Private SD			
20		Public MI			
21		Private MI			
22		SMP/MTs Total			
23		Public SMP			
24		Private SMP			
25		Public MTs			
26		Private MTs			
27		SMP Terbuka			
28		PE Total			
29		PE Male			
30		PE Female			
31		JSE Total			
32		JSE Male			
33		JSE Female			
34		PE >7 years old			
35		PE 7-12years old			
36		PE >12 years old			
37		JSE >13 years old			
38		JSE 13-15 years old			
39		JSE >15 years old			
40	Gross Enrollment Rate	PE			
41		JSE			
42	Net Enrollment Rate	PE			
43		JSE			
44	Dropout Rate	PE			
45		JSE			
46	Repetition Rate	PE			
47		JSE			
48	Completion Rate/	PE			
49	Graduation Rate	JSE			
50	Transition Rate	from PE to JSE			
51	UN Average Score	Total Average			
52		BI			
53		Mat			
54		Eng			
55	UN Passing Rate				
56	Number of Pesantren	for 7-12 years old			
57		for 13-15 years old			
Education Finance					
58	Revenue	APBD Total			
59		DAU			
60		DAK			
61		PAD			
62		Others			
63	Total Expenditure	Total			
64		Routine Non Salary			
65		Routine Salary			
66		Devalopment			
67		Others			
68	Education Budget	Total			
69		Routine Non Salary			
70		Routine Salary			
71		Devalopment			
72		Others			
73	School Budget	Total			
74		Routine Non Salary			
75		Routine Salary			
76		Decon Programs			
77		Donor Support			
78		National Subsidy for School Operation (BOS)			
79		Others			
80	District Initiative Programs in Edu.	Budget Total			
81		Name of the Programs			
82	Organizational chart of district education office				
83	Total number of personnel				
84	Number of JSE administrators				
85	Number of JSE School Supervisors				

Kabupaten/Kota Baseline Survey

Source: Dinas Pendidikan
Contact Person:
Tel:

Education (In-Service Teacher Training)

2001 2002 2003 2004 2005
2001/2002 2002/2003 2003/2004 2004/2005 2005/2006

86	Budget for MGMP activity	
87	Budget for other Teacher Training	
88	Name of Decon Program	
89	ditto	
90	ditto	
91	ditto	
92	ditto	
93	ditto	
94	ditto	
95	ditto	
96	ditto	
97	Number of PE Teachers	SD/MI Total
98		SD Fulltime Total
99		SD Fulltime Male
100		SD Fulltime Female
101		SD Parttime Total
102		SD Parttime Male
103		SD Parttime Female
104		MI Fulltime Total
105		MI Fulltime Male
106		MI Fulltime Female
107		MI Parttime Total
108		MI Parttime Male
109		MI Parttime Female
110	Number of JSE Teachers	SMP/MTs Total
111		SMP Fulltime Total
112		SMP Fulltime Male
113		SMP Fulltime Female
114		SMP Parttime Total
115		SMP Parttime Male
116		SMP Parttime Female
117		MTs Fulltime Total
118		MTs Fulltime Male
119		MTs Fulltime Female
120		MTs Parttime Total
121		MTs Parttime Male
122		MTs Parttime Female
123	Number of Teachers by Subject Matter	Mat SMP/MTs Total
124		Mat SMP Total
125		Mat MTs Total
126		Sains SMP/MTs Total
127		Sains SMP Total
128		Sains MTs Total
129		Eng SMP/MTs Total
130		Eng SMP Total
131		Eng MTs Total
132		BI SMP/MTs Total
133		BI SMP Total
134		BI MTs Total
135	Number of MGMP	Total in the District
136		Mat
137		Sains/IPA
138		Eng
139		BI
140		IPS
141		PPKn
142	Frequency of MGMP per year	Mat
143		Sains/IPA
144		Eng
145		BI
146		IPS
147		PPKn
148	Average Participants per meeting	Mat
149		Sains/IPA
150		Eng
151		BI
152		IPS
153		PPKn
154	MGMP Instructors/Facilitators (Who)	Mat
155		Sains/IPA
156		Eng
157		BI
158		IPS
159		PPKn
160	MGMP Financial Resource	Mat
161		Sains/IPA
162		Eng
163		BI
164		IPS
165		PPKn

5) ベースライン調査関連資料(データシート)Health

Kabupaten/Kota :

Source :
Contact person :
Phone :

Health

		2001	2002	2003	2004	2005	2006
1	Population Annual growth rate (%)						
2	Dependency ratio (per 100)						
3	Percentage of population aged 60+ years						
4	No. of pregnant women						
5	% pregnant women receiving Fe						
6	% Pregnant women K4						
7	% high risk pregnant women						
8	% high risk pregnant women who are sent for further treatment						
9	% high risk pregnant women who get treatment						
10	% birth delivery assisted by medical personnel						
11	No. of newborn infant						
12	% newborn infant (neonatus) visitation Puskesmas						
13	% high risk neonatal who are sent for further treatment						
14	% high risk neonatal who are sent for treatment and got treatment						
15	% visitation of infant to health facilities						
16	% Low weight neonatal						
17	% Low weight neonatal who got medical treatment						
18	% coverage of under 5 years/pre school children growth detection						
19	% coverage of SD/MI student health checked						
20	% coverage of teenager health checked						
21	No of fertile age couple						
22	% of active family planning acceptor from the fertile age couples						
23	No of Desa/Kelurahan						
24	% Desa/ kelurahan UCI						
25	Number of visitation to puskesmas for ordinary treatment (rawat jalan)						
26	Number of visitation to puskesmas and spent night at puskesmas						
27	Number of visitation to hospital for ordinary treatment (rawat jalan)						
28	Number of visitation to hospital and being hospitalized						
29	% coverage of visitation to health facilities from kab./kota population						
30	No. of under 5-year						
31	% of under 5-year with weight gained						
32	% of under 5-year with weight under red line						
33	% of under 5-year receiving Vit A 2X						
34	% of under 5-year with bad nutrient who got medical treatment						
35	% of hospital with access to the availability of blood						
36	% Puskesmas with access to the availability of blood						
37	No. of General hospital						
38	% General hospital with capacity for emergency situation						
39	No. of mental hospital						
40	% Mental Hospital with capacity for emergency situation						
41	No of specific hospital						
42	% Specific Hospital with capacity for emergency situation						
43	No. of Puskesmas						
44	% Puskesmas with capacity for emergency situation						
45	% sub district free from serious nutrition problem						
46	% desa/kelurahan under KLB (extraordinary case) treated < 24 hour						
47	% lung tuberculosis got medical treatment and recover						

5) ベースライン調査関連資料(データシート)Health

		2001	2002	2003	2004	2005	2006
48	% Pneumonia on under 5-years and got treatment						
49	% Diare on under 5-year and got treatment						
50	No of case IMS (sexual spreading infection)						
51	HIV						
52	DBD						
53	No of case that got treatment IMS (sexual spreading infection)						
54	HIV						
55	DBD						
56	% Filaria desease sufferer who got treatment						
57	% Malaria sufferer who got medical treatment						
58	% leprosiian completed the medication						
59	No. spreading desease case, which can be avoid with immunization						
60	DIFTERI						
61	PERTUSIS						
62	TETETANUS						
63	T. NEONATORUM						
64	MEASLES						
65	POLIO						
66	HEPATITIS B						
66	% infant immunized BCG						
67	DPT 1						
68	DPT 2						
69	POLIO 3						
70	CAMPAK						
71	HEPATITIS B3						
72	% infant completely immunized						
73	No. of health elucidation activity						
74	% elucidation activity for preventing improper use of drugs						
75	% availability of essential medicine						
76	% availability of generik medicine						
77	% prescription made for generic medicine						
78	No. of poor family						
79	No. of poor family who receive card for health service for poor family						
80	% poor family who get medical service at puskesmas						
81	% poor family who get medical service at general hospital						
82	No of infant from poor family with weight under red line						
83	% under red line weight infant from poor family who receive MP ASI						
84	% health service provided to formal workers						
85	% health service provided for pre-Usila (45-59 years)						
86	% health service provided for people above 60 years						
87	% blood donors who are screened for HIV-AIDS						
88	% blood donors who are screened for HIV-AIDS and positive						
89	No. of health service facility						
90	general hospital						
91	Mental hospital						
92	Maternity hospital						
93	Other specific hospital						
94	Puskesmas						
95	Puskesmas pembantu						
96	Mobile Puskesmas						
97	Posyandu						
98	Polindes						

5) ベースライン調査関連資料(データシート)Health

		2001	2002	2003	2004	2005	2006
98	Maternity hut						
99	Clinic						
100	Pharmacy						
101	drug store						
102	GFK						
103	Traditional medicine industry						
104	Traditional medicine small industry						
105	physicians' joint practice						
106	physician's individual practice						
107	Indicators of hopital service						
	No of bed						
108	BOR						
109	LOS						
110	TOI						
111	GDR						
112	NDR						
113	% Posyandu Pratama						
114	% Posyandu Madya						
115	% Posyandu Purnama						
116	% Posyandu Mandiri						
117	No. of houses/buildings						
118	% of houses/buldings inspected						
119	% of houses/buldings inspected and free from aedes mosquito larva						
120	% public places inspected						
121	% healthy public places found from inspection						
122	% houses inspected						
123	% healthy houses found on inspection						
124	% Family (from those whoinspected) who have Clean water						
125	Toilet						
126	Garbage dump						
127	sewage management						
128	No. of desa siaga						
Penganggaran							
129	Total APBD Kabupaten						
130	Total budget of health sector in kabupaten/kota						
131	APBD Kab for health						
132	from APBD Provinsi for health						
133	from APBN for health						
134	grant/loan/support from donor						
135	% APBD allocated for health from total APBD						
136	Per capita government expenditure for health						
137	Budget for programs initaited by Kabupaten/kot: (title of Program)						
138	(title of Program)						
139	(title of Program)						
140	(title of Program)						
141	Organization chart of Dinas kesehatan kabupaten/kota						
142	Total no. of personnell						
143	No. of functional personnell dealing with poor community						

Survey Database Pendidikan Dasar dan Kesehatan
Nama-nama Petugas Survey

Jadwal Kunjungan Petugas Survey

Tanggal	Kabupaten Kota	Nama-nama Surveyor	Kabupaten / Kota	Nama-nama Surveyor
5-Sep-06	Makassar	Dr. Nurdin Noni Dr. H. Firdaus Daud Drs. H. Bernard, MS		
6-Sep-06	Gowa	Dr. Nurdin Noni Dr. H. Firdaus Daud Drs. H. Bernard, MS		
7-Sep-06	Maros	Dr. Nurdin Noni Dr. H. Firdaus Daud Drs. H. Bernard, MS		
11-Sep-06	Takalar	Dr. H. Firdaus Daud		
12-Sep-06		Arlin Adam		
13-Sep-06	Pangkep	Dr. H. Firdaus Daud		
14-Sep-06		Arlin Adam		
19-Sep-06	Luwu Timur	Dr. H. Firdaus Daud	Jeneponto	Dr. Nurdin Noni
20-Sep-06		M. Arsyad Rahman		Eduardus Ada'
21-Sep-06	Luwu Utara	Dr. H. Firdaus Daud	Barru	Dr. Nurdin Noni
22-Sep-06		M. Arsyad Rahman		Eduardus Ada'
25-Sep-06	Bantaeng	Dr. H. Firdaus Daud	Sinjai	Dr. Nurdin Noni
26-Sep-06		Arlin Adam		Eduardus Ada'
27-Sep-06	Bulukumba	Dr. H. Firdaus Daud	Selayar	Dr. Nurdin Noni
28-Sep-06		Arlin Adam		Eduardus Ada'
3-Oct-06	Enrekang	Dr. H. Firdaus Daud	Luwu	Dr. Nurdin Noni
4-Oct-06		M. Arsyad Rahman		Eduardus Ada'
5-Oct-06	Sidrap	Dr. H. Firdaus Daud	Wajo	Dr. Nurdin Noni
6-Oct-06		M. Arsyad Rahman		Eduardus Ada'
9-Oct-06	Pinrang	Dr. H. Firdaus Daud	Soppeng	Dr. Nurdin Noni
10-Oct-06		Arlin Adam		Eduardus Ada'
11-Oct-06	Pare-pare	Dr. H. Firdaus Daud	Bone	Dr. Nurdin Noni
12-Oct-06		Arlin Adam		Eduardus Ada'

- 1 Dr. Nurdin Noni
- 2 Dr. H. Firdaus Daud
- 3 Drs. H. Bernard, MS
- 4 Arlin Adam
- 5 M. Arsyad Rahman
- 6 Eduardus Ada'

5) ベースライン調査関連資料(調査日程、調査員名簿)

6) 基礎教育・保健分野ベースライン調査結果

Results of Baseline Survey

on Basic Education in South Sulawesi

Naomi Takasawa
JICA Advisory Expert
for Regional Educational Administration

1

[Framework]

- Field: Basic Education, Primary Health
- Target: 23 Kabupaten/Kota
- Early September – Mid October, 2006
- 6 surveyors (UNM & NGOs)
- Sent to Dinas Pendidikan, Kandepag, BAPPEDA in each Kab./Kota
- Official Letter by Sekda and Dinas

2

[Indicators in Basic Education]

Education Administration	Teacher & In-Service Training
<ul style="list-style-type: none"> ■ No. Kecamatan ■ School age population ■ No. students ■ No. schools ■ Internal Efficiency rate ■ UN score ■ Education budget ■ Organization & Personnel 	<ul style="list-style-type: none"> ■ No. Teachers (GT, GTT, MP, dll) ■ MGMP (No. & frequency & members) ■ Instructors ■ Budget for IST
<ul style="list-style-type: none"> ■ Total 89 X 6 yrs (2001-6) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Total 70 X 6 yrs (2001-6)

3

Data Availability

◆ High in Sinjai, Bone, Wajo
 ◆ low in Gowa, Luwu Timur, Makassar
 ◆ Average is around 50%

4

JSE-GER

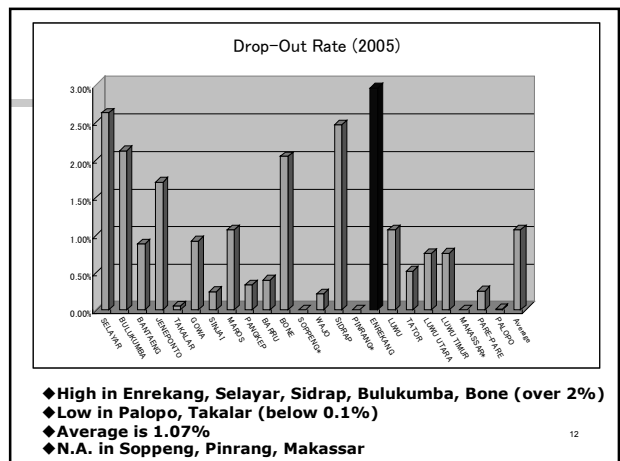
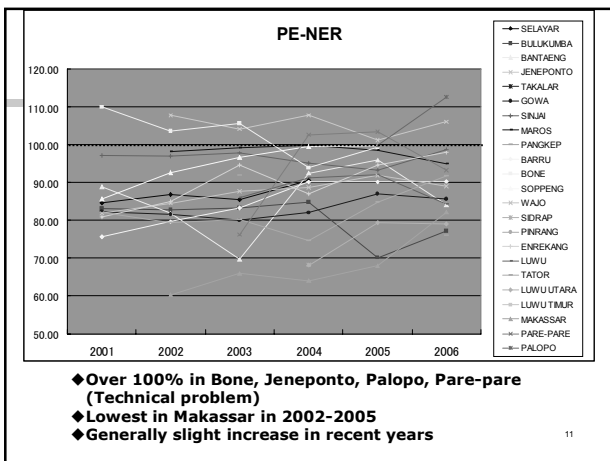
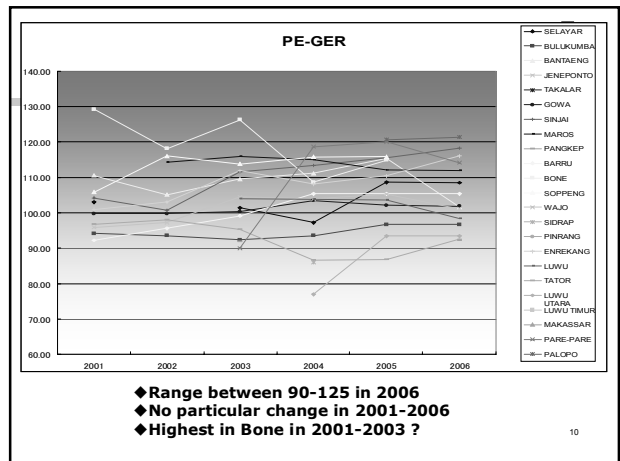
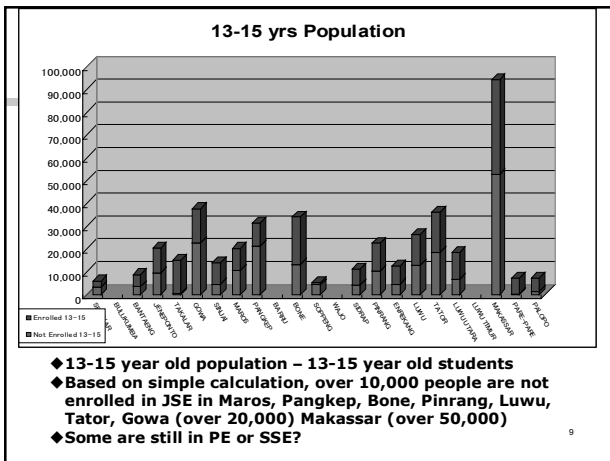
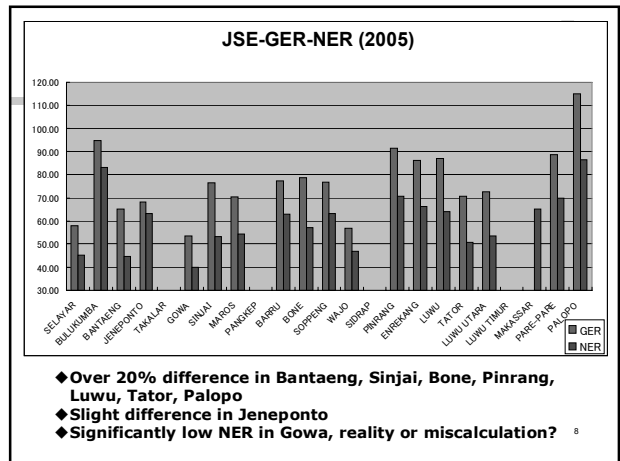
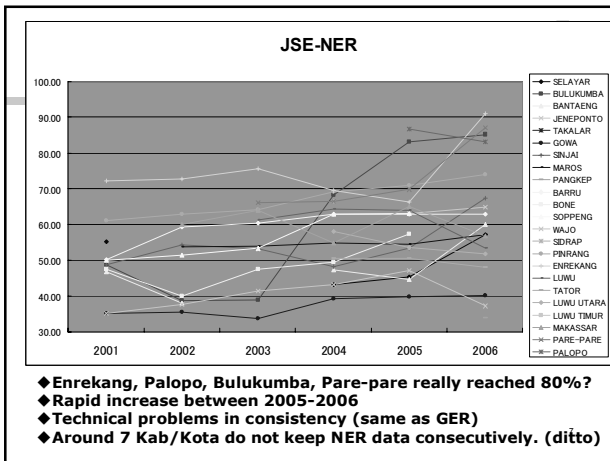
◆ Generally gradual increase
 ◆ Technical problems in consistency, especially in Palopo, Enrekang, Pare-pare, Bulukumba
 ◆ About 7 Kab/Kota do not keep GER data consecutively.

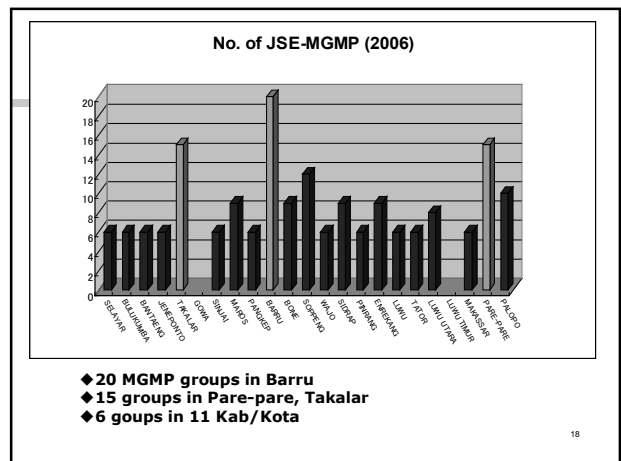
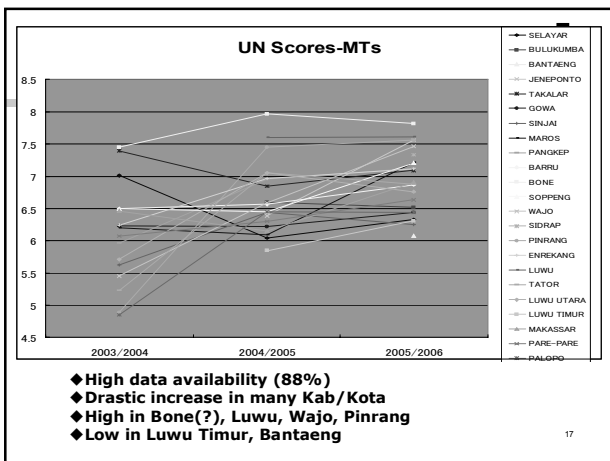
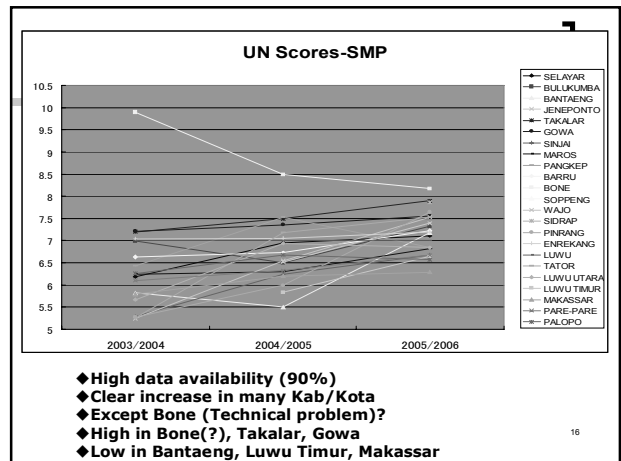
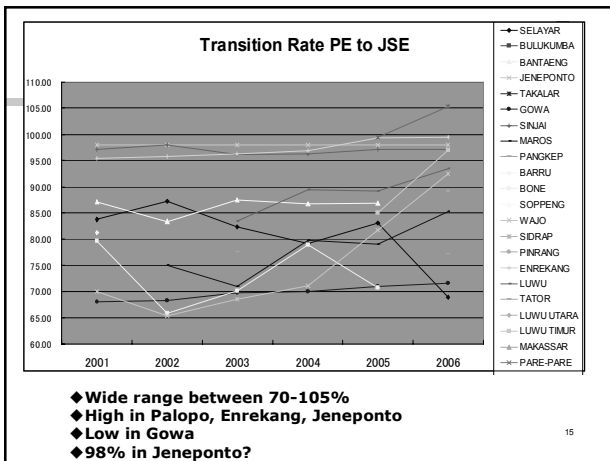
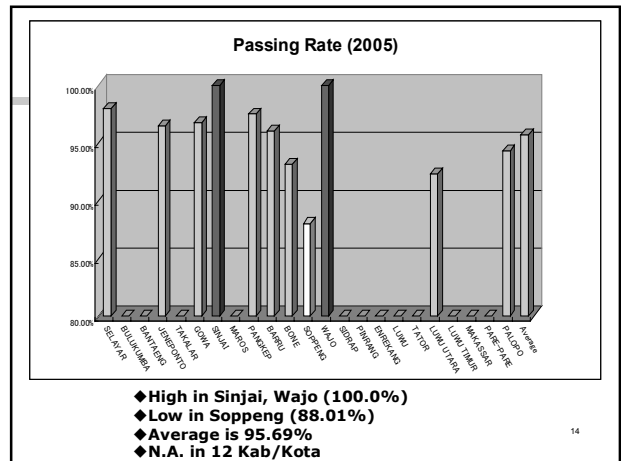
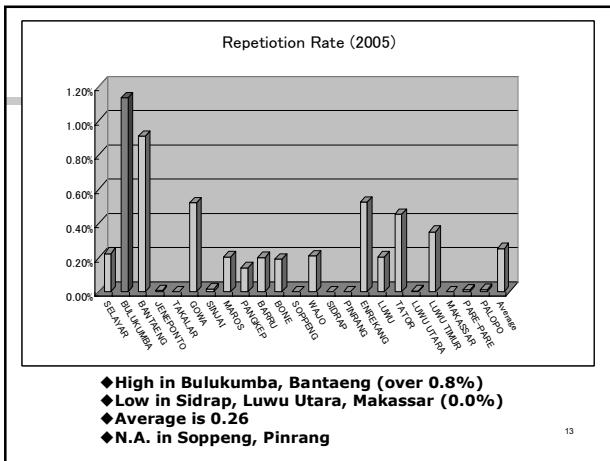
5

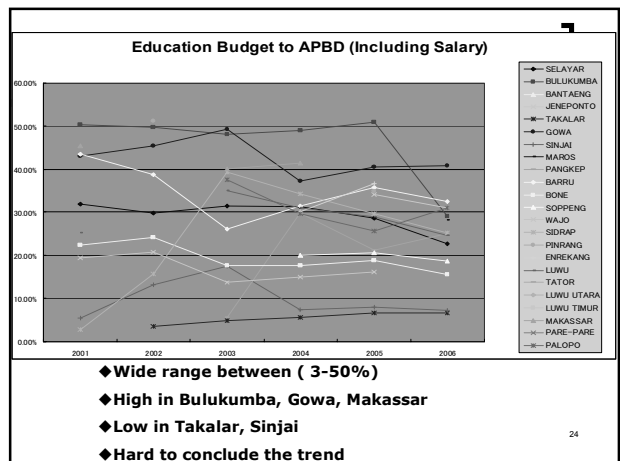
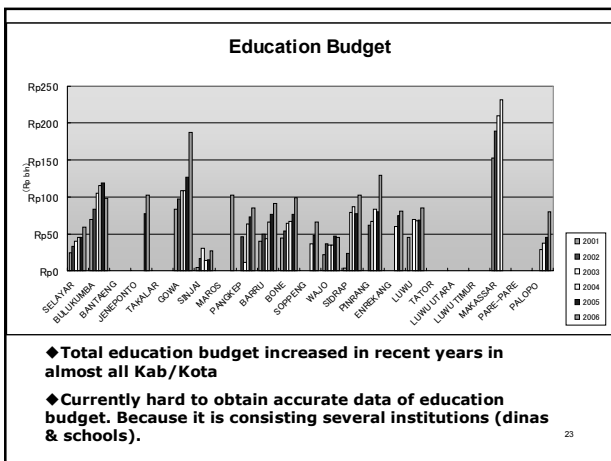
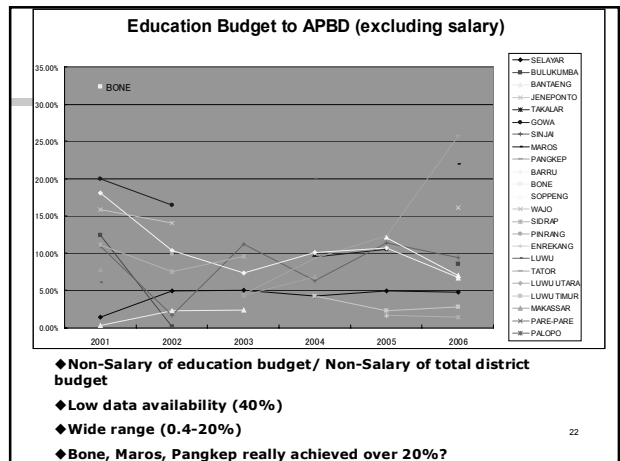
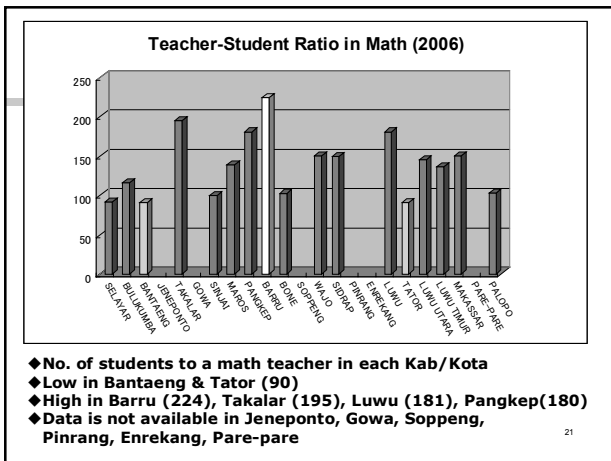
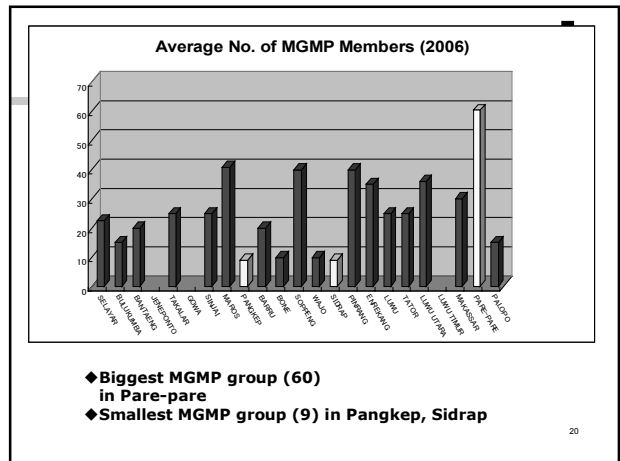
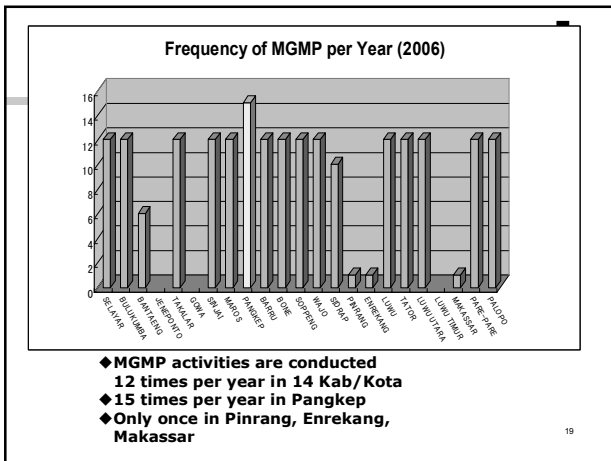
Comparison: JSE-GER (2005)

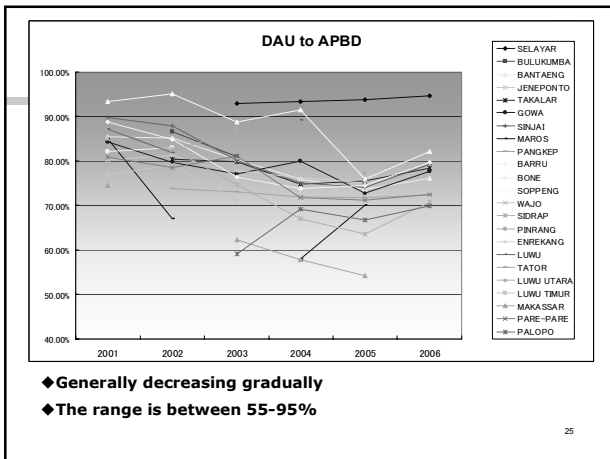
◆ Comparison among 3 different levels (Kab., Prop, Pusat)
 ◆ Not uniformed formula
 ◆ Significant difference recognized in many Kab/Kota
 ◆ Why?

6









District Initiatives in ISTT

SELAYAR	N.A.	WAJO	2003-04 MGMP
BULUKUMBA	2001-03 MGMP	SIDRAP	2004-05 MGMP
BANTAENG	MGMP	PINRANG	MGMP
JENEPONTO	MGMP	ENREKANG	MGMP
TAKALAR	MGMP,KBK,KTISP	LUWU	2004-05 MGMP
GOWA	N.A.	TATOR	2003-04 MGMP
SINJAI	N.A.	LUWU UTARA	N.A.
MAROS	MGMP	LUWU TIMUR	MGMP
PANGKEP	N.A.	MAKASSAR	N.A.
BARRU	MGMP	PARE-PARE	MGMP
BONE	N.A.	PALOPO	N.A.
SOPPENG	2003-04 MGMP		

26

- [Findings]**
- Significant number of school age population is not enrolled in JSE.
 - GER and NER of JSE is gradually increasing, while those of PE is showing slight increase.
 - Transition rate from PE to JSE stays same level.
 - UN Scores are significantly increasing in many Kab/Kota.
 - Significant difference among data sources is confirmed in GER.
 - It is hard to figure out accurate and realistic education budget ratio to total APBD. Because it is also hard to access total amount of Education Budget and breakdown of the budget
- 27

- [As Conclusion]**
- Reliability problem of district data appeared through reviewing GER & NER of PE and JSE. Data availability at district level is quite low (around 50%). It can be presumed that districts officials do not evaluate their achievement with database and do not utilize database for education planning at district level.
 - Technical support is needed in database management for better education planning at district level.
- THANK YOU FOR YOUR ATTENTION!**
- 28

7) PCM ワークショップ実施報告書

PCM ワークショップ結果報告

南スラウェシ州地方教育行政
アドバイザー短期専門家
高澤 直美

1. 目的

南スラウェシ州地域開発プログラムの一コンポーネントとして、南スラウェシ州前期中等教育改善総合計画が平成 19 年度より開始する予定である。それに先立ち、州教育および地域開発関係者間で新規協力案件に関する合意形成および支援分野における問題認識の共有を目的として、PCM ワークショップを開催することとなった。

2. 日程、プログラム

マカッサルにおいて 2007 年 1 月 9・10 日 (1 日半) に行われた。詳細は次表の通りである。PCM ワークショップに入る前に、ベースライン調査の結果報告を行った。同調査結果をワークショップの議論に活用してもらうことも狙いであった。

PCM ワークショップ終了後、引き続き JICA 教育協力ワークショップ (1 日半) が開催された。

Day 1 (Jan. 9)		Day 2 (Jan. 10)	
9:00	Opening Ceremony Introduction by JICA-MFO Remarks by JICA Opening Address by Ketua BAPPEDA Prayer	8:30	Review of Objective Analysis 1
9:30		9:30	Objective Analysis 2 <i>(Group Discussion)</i>
	Report of Baseline Survey Results <i>(JICA Expert)</i>	10:00	Reporting
10:30		10:15	Break
10:45	Break		Solution Findings <i>(Group Discussion)</i>
11:15	Q & A	11:00	
11:30	Workshop Orientation	11:30	
12:00	PCM Workshop Grouping	12:00	Conclusion of the PCM Workshop
	Break (Lunch)		Break (Lunch)
13:00		13:00	
	Problem Analysis 1 <i>(Group Discussion)</i>		
14:30		Reporting	
15:00			
15:15	Break		
	Objective Analysis 1		
15:45		Reporting	
16:45	Conclusion of the day		

3. 参加者

南スラウェシ州 教育局 11 名
地域開発局 4 名

宗教省州事務所 6名
 州議会教育審議会 2名
 教育委員会 1名 計 24名

4. ワークショップ結果

ワークショップでは、上述3の参加者24名を、さらに3グループ（グループA,B,C）に分け、作業を進めた。その際、所属が偏らないよう、多様な意見が議論に反映されるよう、配慮した。

ワークショップでのファシリテーターは短期専門家（筆者）が務め、アシスタントファシリテーター（MFO・PO および外部アシスタント2名）とともにワークショップを進めた。

ワークショップの作業に入る前に、新規教育協力案件の経緯やフォーカスについての概要説明を行った。

4.1 受益者・ステークホルダー分析

グループに分かれ、①前期中等教育改善の案件における直接の受益者は誰か、②教育改善に取り組む際のステークホルダー（受益者を支えるステークホルダー）は誰なのか、について議論してもらった。その結果は次表の通りである。

受益者分析

順位	A グループ	B グループ	C グループ
1	生徒	生徒	生徒
2	教員	保護者	教員
3	校長	教員	
4	保護者	校長	
5	学校委員会	学校委員会	
6	教育コンサルタント		

ステークホルダー分析の中で、あえて「受益者分析」を行った理由は、他地域のマイクロプランニング研修などの際に、「生徒が第一の受益者」という視点が欠ける場合があるためである。3グループとも、ファシリテーターがこの点に関して投げかけをすることなく、受益者の第一に「生徒」を挙げた。Cグループは、受益者を「生徒」と「教員」に絞ることにこだわり、「校長」は受益者を支援するステークホルダーの最初に挙げた。

3グループとも多様なステークホルダーの巻き込みが、効果的教育改善には不可欠との認識で一致した。REDIPにおけるコミュニティチーム（TPK）の想定される構成メンバーともほとんど重なるものである。

Cグループが、学校でスナックを販売する「カンティン」を生徒の栄養補給や授業に集中を促すためのサポートとして挙げた。保健案件との連携を進める際のヒントにもなるものと考えられる。

ステークホルダー分析

A グループ	B グループ	C グループ
教員	地方政府	校長
校長	メディア	指導主事
保護者	国会	地方政府

同窓会	宗教省	保護者
教育省	コミュニティ	学校委員会
コミュニティリーダー	教育省	教育委員会
地域開発計画局	地方議会	NGO
メディア	同窓会	メディア
産業界	産業界	コミュニティリーダー
大学		宗教リーダー
議会		財団
教育財団		教員組合
NGO		産業界
政府		用務員
宗教省地域事務所		カンティン

4.2 問題分析

現在の南スラウェシ州の前期中等教育分野における深刻な問題は何なのか、グループごとに抽出する作業（ブレインストーミング）を行った。ある程度出揃ったところで、問題をカテゴリー別に分類した。その結果は次表の通りである。

A グループ	B グループ	C グループ
[教育の質]	[教員]	[マネージメント]
試験の平均点が低い	中学校教員の質が低い	中学校の卒業生の質が低い
カリキュラムが頻繁に変更される	教科教員が不足している	学校運営の透明性・説明責任制が低い
[教員の質]	教員の供給と需要のバランスが崩れている	カリキュラムが頻繁に変わることが生徒・教員のフォーカスを阻害している
教員の資質が低い	教員給与が低い	カリキュラムに倫理的内容が不足している
教員が不足している	二教科を担当している教員がいる	[教員]
[生徒の学習意欲]	指導主事の採用が基準に沿っていない	授業のプロセスが効果的に行われていない
生徒の勉強が習慣化されていない	[生徒]	専門教科に沿わない教員配置が行われている
生徒の学習意欲が低い	生徒の栄養が不足している	教科の掛け持ちが各授業に集中することを妨げている
生徒は読書に対して興味がない	生徒の勉強が習慣化されていない	教員のコミットメントが低い
図書室が機能していない	成績優秀生に対するインセンティブが少ない	[施設・設備]

授業中の教員と生徒の間のコミュニケーションが不十分である	生徒の就学状況に関するデータが不安定である	学習設備が不十分である
[施設・設備]	[カリキュラム]	備品整備が生徒のニーズに合っていない
施設的に不十分である	カリキュラムが国家標準に満たない	教室が不足している
設備が不十分で、授業をサポートしていない	教材教具が不足している	[コミュニティとの連携]
理科実験室や図書室が足りない	評価活動も標準を満たさない	住民参加がまだ不十分である
本を持っている生徒が少ない	指導法が統一されていない	ステークホルダーからの支援がまだ不十分である
[保護者の支援]	[教育マネジメント]	学校委員会が機能・役割をよく理解していない
保護者からの支援が足りない	指導主事が十分に配置されていない	親が身体障害のある子供を学校に行かせない
[環境の影響（住民の意識）]	[コミュニティ]	親の教育の重要性に対する意識が低い
中途退学者が多い	親の教育に対する意識が低い	[生徒の学力]
	教材整備への支援が少ない	通学困難な地域が存在する
	[施設・設備]	ある地域は就学率が低下している
	学習設備がまだ十分整備されていない	ある地域では非識字率が上がっている
	教具がまだ不足している	
	読み物が十分整備されていない	
	産業界の中学校への支援がまだ弱い	

上記の作業の結果、Aグループは「就学状況（アクセス）」の問題、Bグループは「教員の質」の問題、Cグループは「学校マネジメント」の問題を優先的課題としてそれぞれ選択した。Aグループでは、当初「教育の質」を優先課題に挙げていたが、教育施設・設備に関する関心がグループ内で高まったことから「就学状況」について分析することに決定した。Cグループでは、マネジメントの分析対象を学校レベルとするか、教育システム全体とするか、若干意見が分かれたが、結局学校レベルに限定したマネジメントを選択することとなった。各グループにて引き続き、各中心課題について、問題分析を進めていった。

各グループの問題系図は別添の通りである。

作業を通して、インドネシアの教育制度において教育の質向上のための各種基準、規定が定められているが、遵守されていない、あるいはまだ遵守できる環境が整っていない、実施能力の問題、などの指摘があった。各種規定やプログラムに関するソーシャリゼーションが不足しているという分析結果として多く挙げられた。

4.3 目的分析

各グループの目的系図は別添の通りである。

4.4 解決策検討

問題分析、目的分析の結果として、現状改善のための解決策として次のようなものが挙げられた。

A グループ：就学状況改善のための調整会議およびソーシャリゼーション、

B グループ：効果的現職者教員研修、教育の質に関する校長・指導主事研修、
教員増員など

C グループ：学校計画作成研修、学校マネジメント研修（校長、指導主事、行官対象）、
教育データ管理研修、ステークホルダーに対するソーシャリゼーションなど

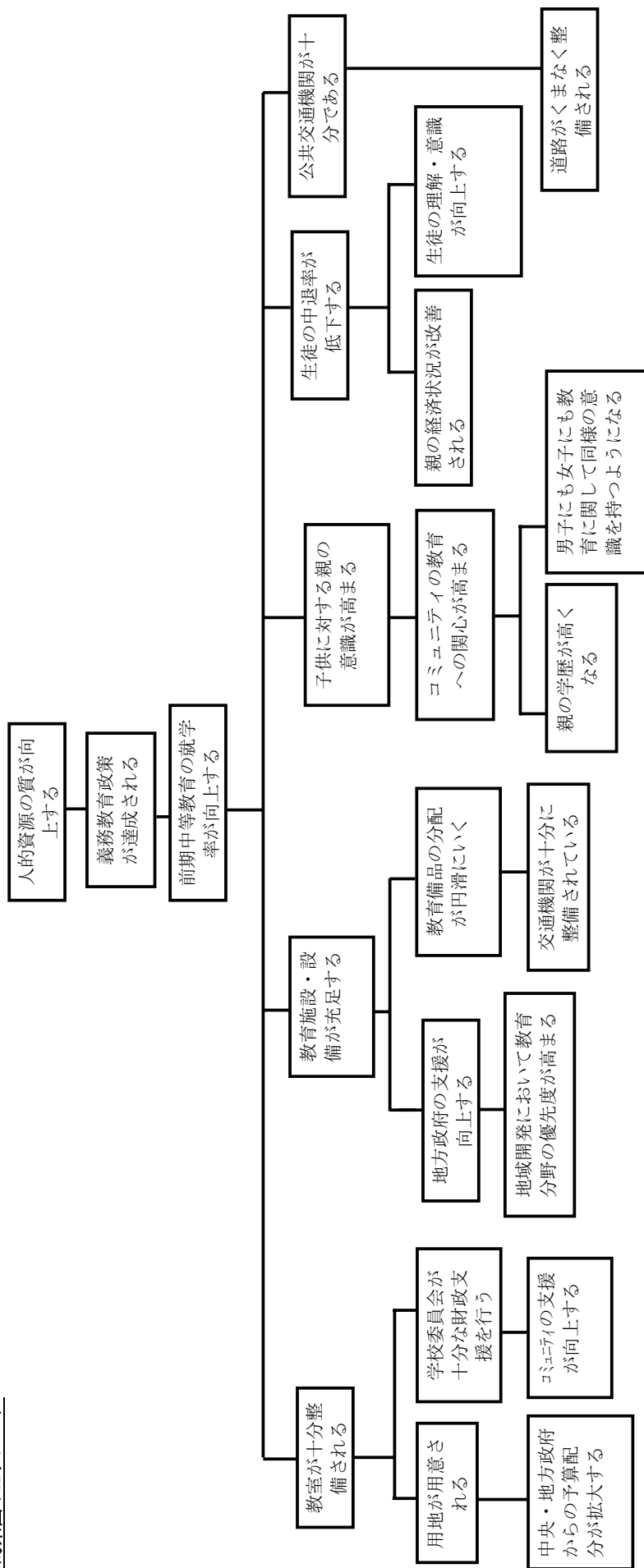
5. まとめとして

各グループで議論された就学率改善、教育の質向上、学校主体運営の課題や解決策は、教員増員を除いて、REDIP/SISTTEMS の支援対象と全く合致することが明らかとなった。また、州ステークホルダーの問題意識、方向性が案件デザインと同じことがこのワークショップで確認された。

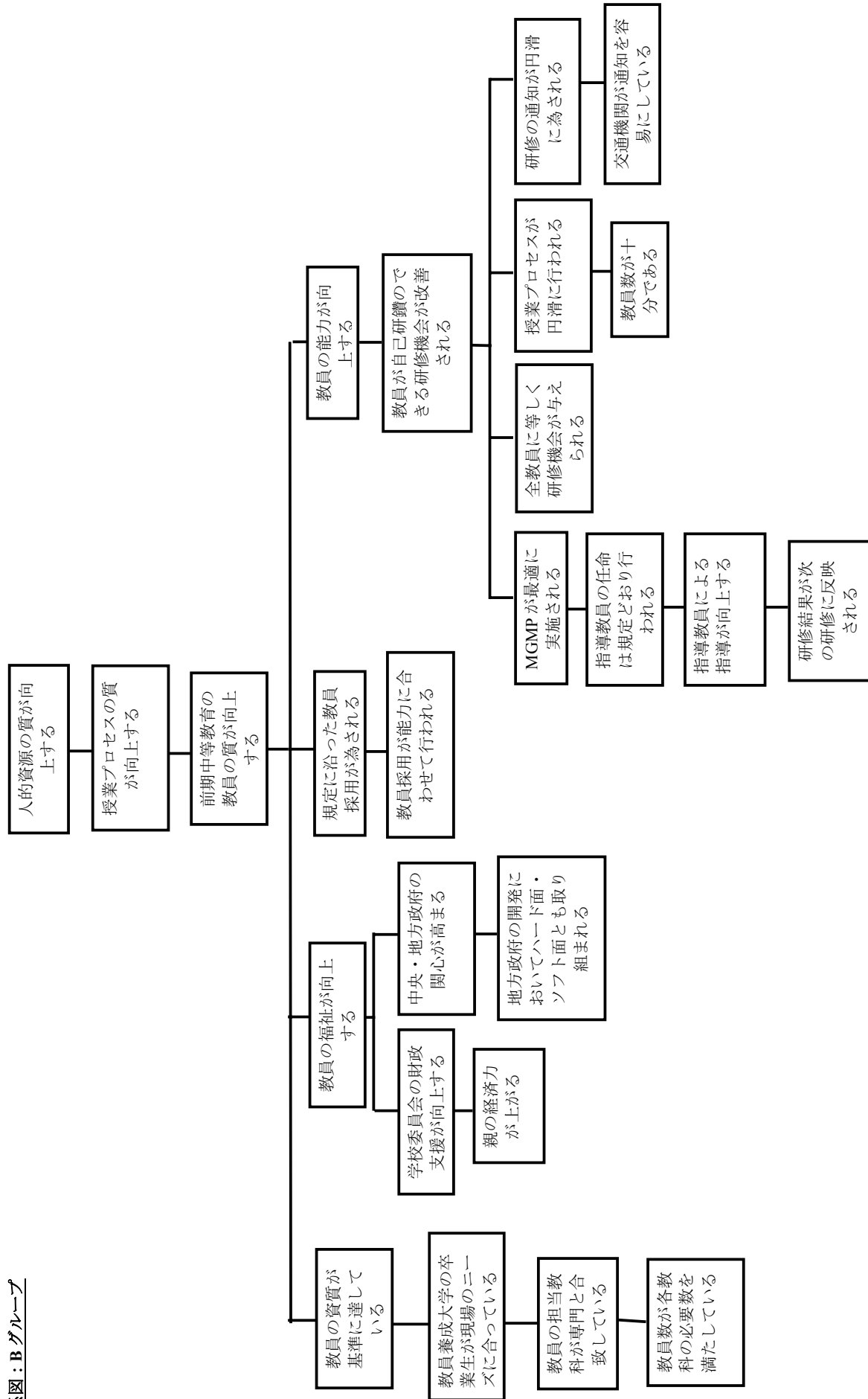
4.4 の課題の解決策を見ると、現在の制度で行われている活動ばかりであるが、参加者は、現行の各種研修はまだまだ不十分と認識している。所定の計画通りの日程で研修が行われないことがよくあることも参加者から指摘された。新規案件において、各種改善活動が郡や学校レベルで行われ、コミュニティの目も働きやすくなり、自動的により透明性の高い事業が展開されることとなる。この点にも州ステークホルダーは着目している。

以上

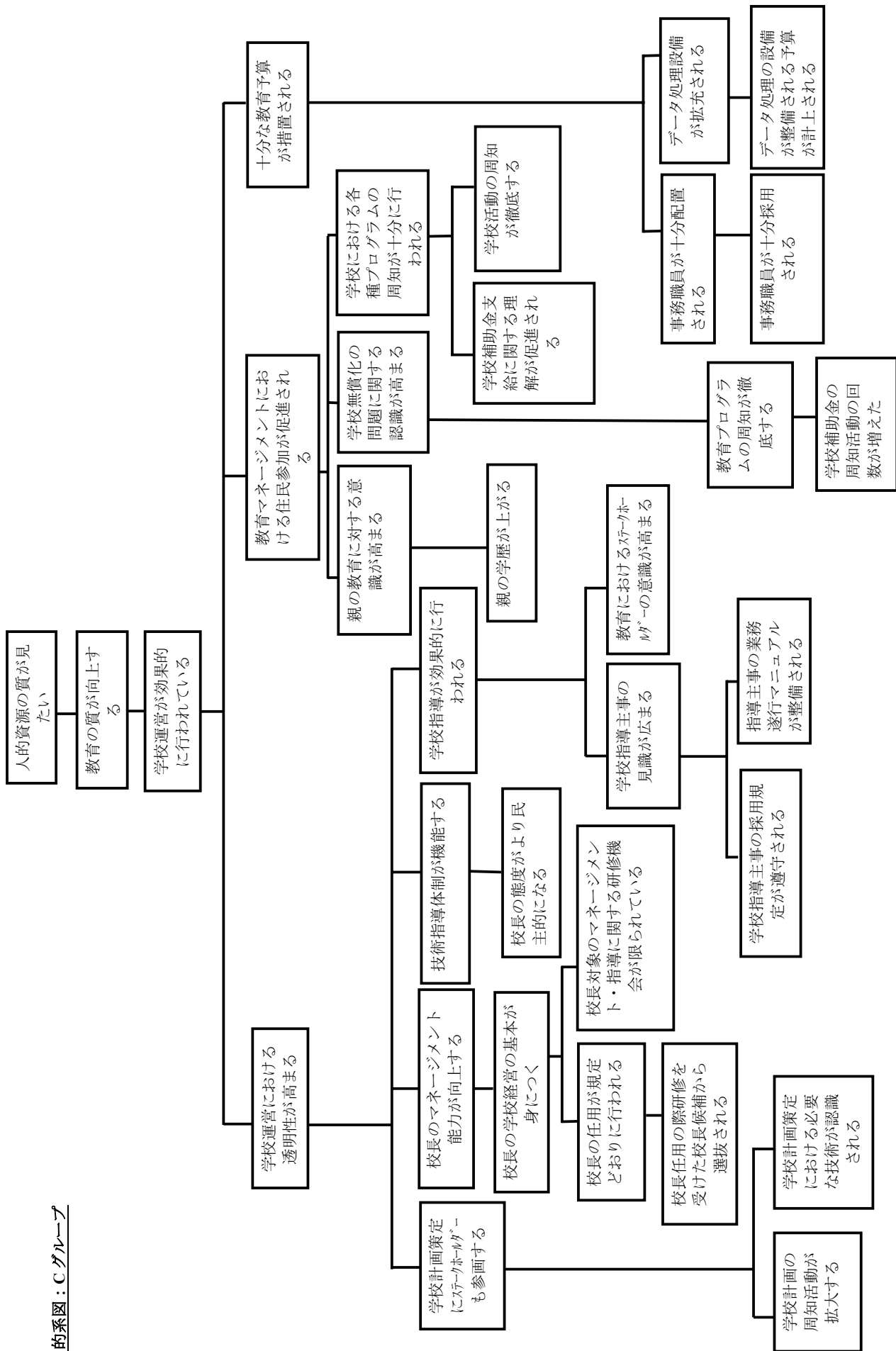
目的系図：Aグループ



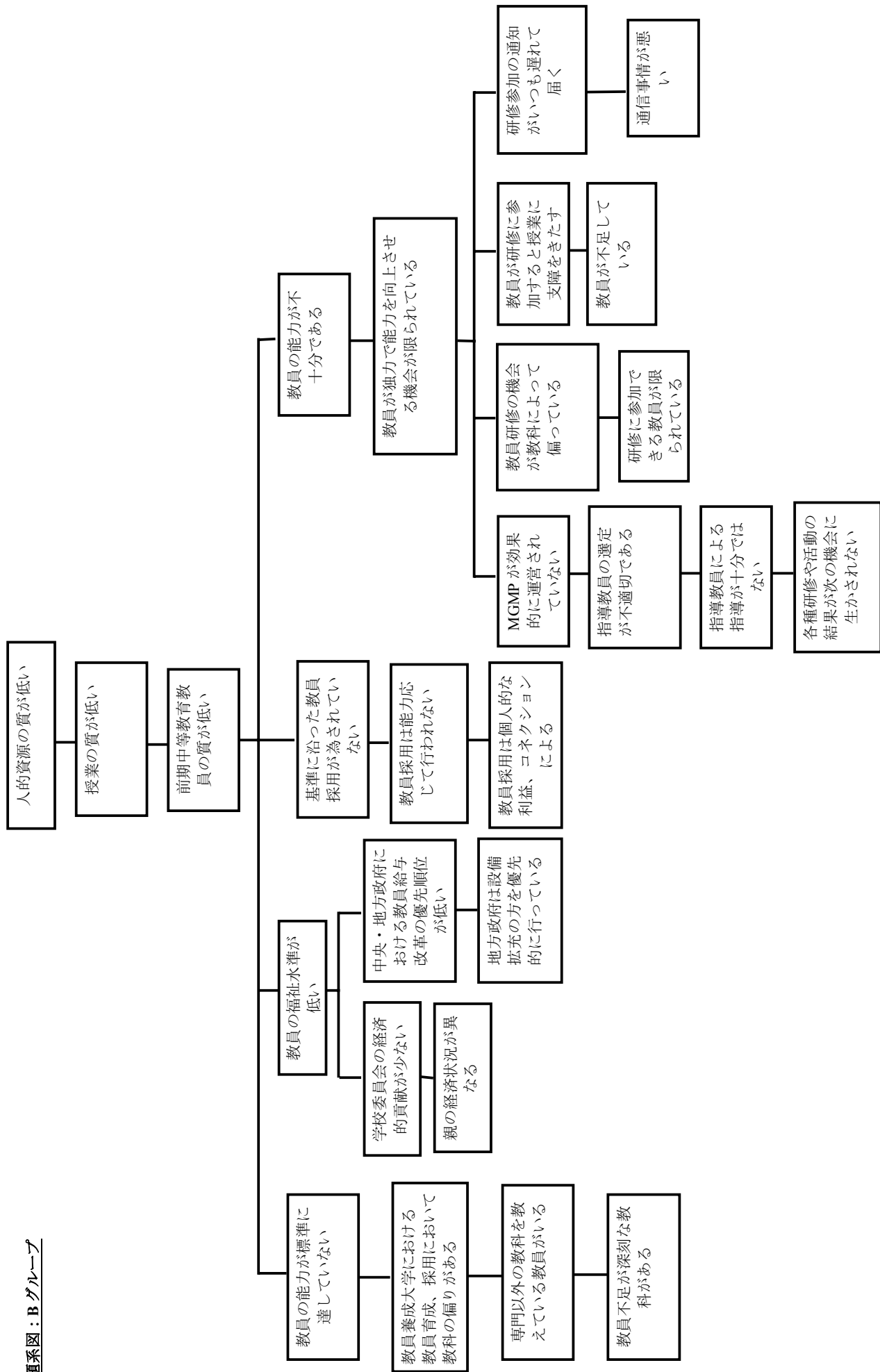
目的系図：Bグループ



目的系図：Cグループ



問題系図：Bグループ



PCM Workshop on Education

Facilitator: Naomi Takasawa
JICA Advisory Expert
for Regional Educational Administration
in South Sulawesi

January 9-10, 2006, Makassar

1

2 Proposals in Basic Education

- Integrated Plan for Junior Secondary Education improvement in South Sulawesi
- Primary School Rebuilding Project in South Sulawesi Province

2

Integrated Plan for Junior Secondary Education improvement in South Sulawesi

- Quality and Access Improvement of Junior Secondary Education
- School-based Management Improvement
- Teacher Professionalism Development
- District Education Management Capacity Improvement
- Community Participation

3

Integrated Plan for Junior Secondary Education improvement in South Sulawesi

- Trough Block Grant Provision to Target Schools and TPK
- With Intensive Field Facilitation
- Education Planning Workshops
- School-based Management Training
- Teacher Professionalism Training
- Proposal-based Various and Effective School Activities
- Collaboration with Community

4

The Focus of This Workshop

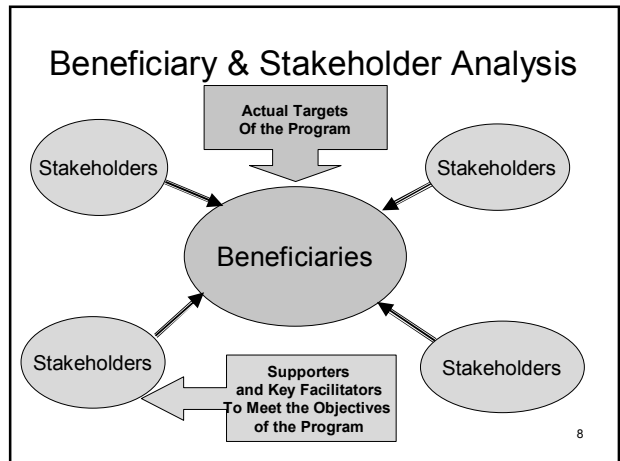
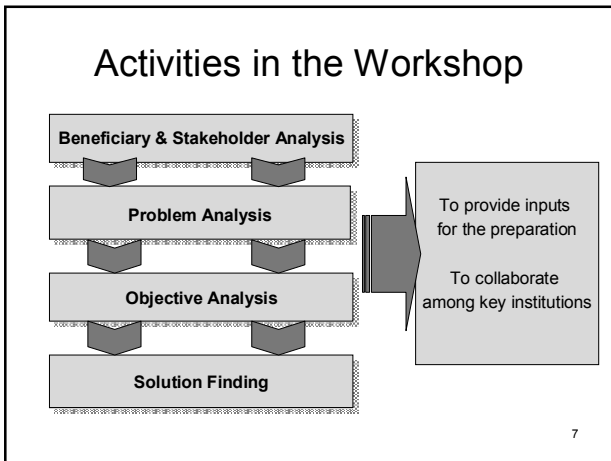
- Junior Secondary Education Improvement
 - To share perspectives or recognitions over the current issues
 - To build consensus for the program

5

Today's Participants

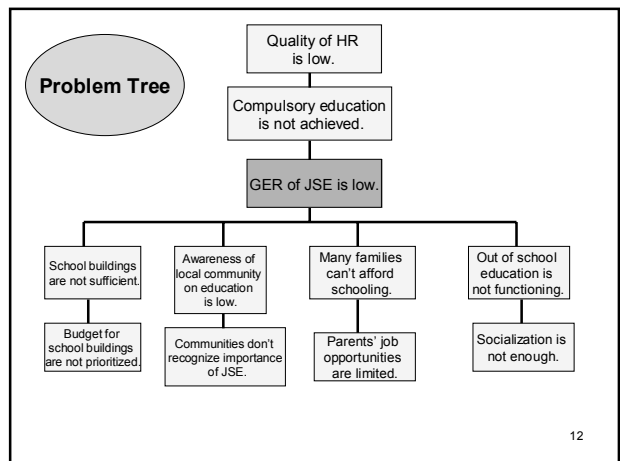
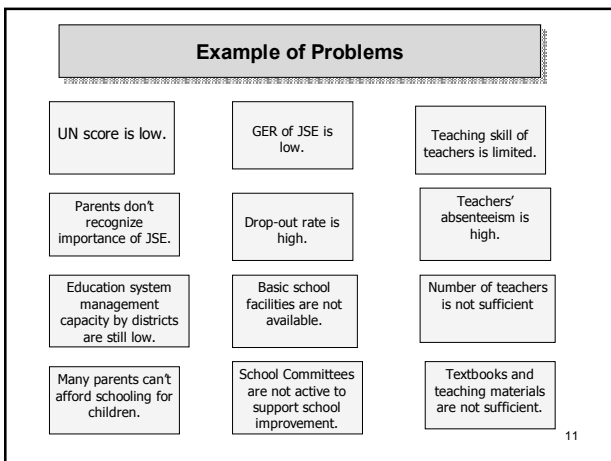
- Provincial Decision-makers
- Specialists/ Experts in terms of
 - Education System Management
 - Education Policies/ Programs
 - Local Situation in Education
 - Education Development Planning
 - Religious Education Institutions

6



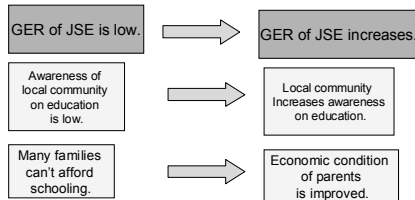
- ### Problem Analysis 1
- Brainstorm current problems
 - Categorize the problems
 - Find out 'Focal problems'
 - Create 'Problem Tree'
 - Analyze correlation of 'Cause – Effect'
- 9

- ### Problem Analysis 2
- Write down problems in a 'sentence'
- ex. X 'Low quality of JSE'
 O 'Education quality of JSE is low.'
- X 'No community support in education improvement'
 O 'Community doesn't support education Improvement.'
- Describe the situation
- 10

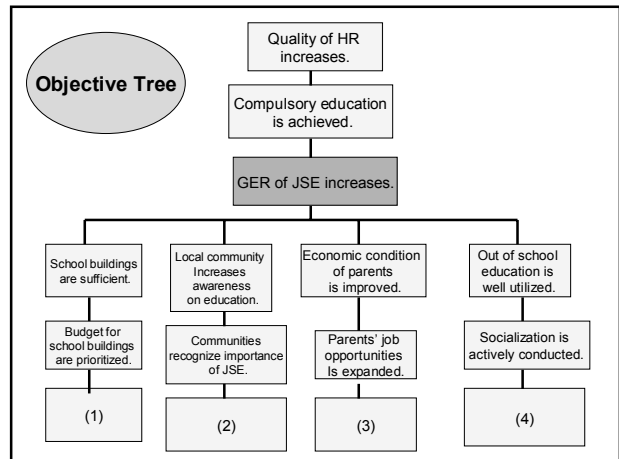


Objective Analysis

- Interpret / transform 'Problems' into 'Objectives'
- Analyze correlation of 'Means – Ends'

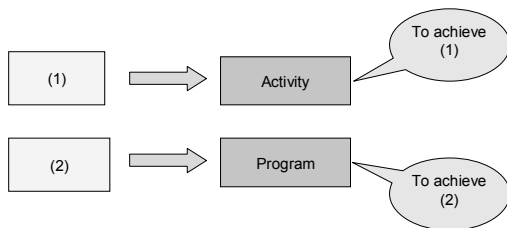


13



Solution Finding

- Create alternatives (concrete activity or program) to achieve the objectives



15

Thank you
for your active participation

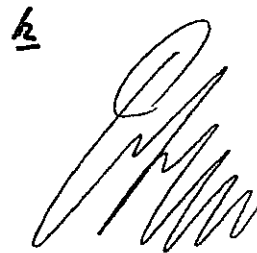
16

**Memorandum
For
Preliminary Discussion
On
The Integrated Plan for Junior Secondary Education Improvement
In
South Sulawesi**

Makassar, 17th January 2007



Nobuhiko HANAZATO
Deputy Resident Representative,
Indonesia Office,
Japan International Cooperation Agency
(JICA)



Drs. H.A. Patabai Pabokori
Head
Dinas Pendidikan
South Sulawesi Province

Based on a series of discussion between JICA Team and Dinas Pendidikan officials concerned, both parties agreed upon the following items as preparation for the the JICA Cooperation Project in Junior Secondary Education (Integrated Plan for Junior Secondary Education Improvement in South Sulawesi).

1 Image of the cooperation project

As attached

2 Target districts (Tentative)

2.1 Two potential districts out of three districts (target districts for JICA Health Project) are expected to be selected for inter-sector collaboration between primary health and basic education.

2.2 District selection shall be based on in-depth analysis over district potentials.

2.3 Main indicators (GER, Transition Rate, DO Rate, Graduation Rate, UN Scores, HPI, Percentage of Poor Population, Percentage of Education Budget, District Initiatives in ISTT, Geographical Access) were applied in the selection (as attached).

2.4 As a result derived from the above noted analysis, following three districts are selected respectively as tentative target districts for the Project.

- Kabupaten Barru
- Kabupaten Wajo
- Kabupaten Jeneponto

The district selection will be finalized through further discussion between JICA and above noted candidate districts.

Attachment 1: Image of the Project

Attachment 2: Main Indicators of District Selection

Integrated Plan for Junior Secondary Education Improvement in South Sulawesi (Technical Cooperation Project)
Plan of Operation (P/O)
 (First Draft, Jan. 2007)

Output & Activities	2007			2008			2009			2010			Remarks													
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
Output 1: Education improvement activities, which meet diverse needs at schools and among communities, are implemented.																										
1-1	Establishment/ Confirmation of TPK and School Committees	■																								
1-2	Education Planning Workshop	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
1-3	Education Improvement Action Plan Formation at schools and TPK	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
1-4	Implementation of Education Improvement Activities																									
1-5	School-based Management Training (TPK Activity)																									
1-6	Technical Exchange Program																									
1-7	Monitoring & Evaluation																									
Output 2: Practical in-service teacher training (Lesson Study) is introduced and implemented.																										
2-1	School Reform Workshop for Principals (applying LS) at Kecamatan Level																									
2-2	MGMP (cluster-based in-service teacher training activity) applying LS at Kecamatan Level																									
2-3	LS Facilitator Training																									
2-4	LS Pilot School (Entire-School) Activity in Each Kecamatan																									
2-5	LS Workshop to Foster Capacity of Teacher Education Institutes (LPTK)																									
2-6	Activity Review Workshop at Provincial Level																									
2-7	Technical Exchange Program (Inter-Provincial Study Tour)																									

